

「納豆に関する調査」

調査結果報告書

2023.6

調査目的

サンプル数

2000サンプル

サンプル構成

男性	1002
女性	998
合計	2000

20代	303
30代	388
40代	461
50代	389
60代以上	459
合計	2000

北海道	86	中部	247
東北	140	近畿	322
関東	695	中四国	172
北陸	114	九州	224
		合計	2000

調査手法

インターネット調査

調査実施期間

2023年6月15日(木)~19日(月)

報告書表記・計算方法 説明

* 数表部分の色づけ(サンプル数30以上のみ)

 全体+10ポイント以上	 全体-5ポイント以上
 全体+5ポイント以上	 全体-10ポイント以上

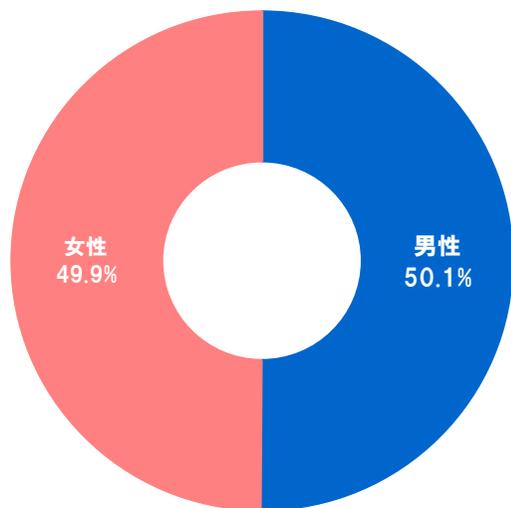
* 基数が30未満のものは、参考値とする。

P16一食あたりの納豆をごはんかけて食べる量の平均摂取分量の計算は、各選択肢を以下の分量に換算して計算しております。

0.5パック(20~25g)未満	⇒ 20g
0.5パック(20~25g)	⇒ 22.5g
1パック(40~50g)	⇒ 45g
1.5パック(60~75g)	⇒ 67.5g
2パック(80~100g)	⇒ 90g
2.5パック(100~125g)	⇒ 112.5g
3パック(120~150g)	⇒ 125g

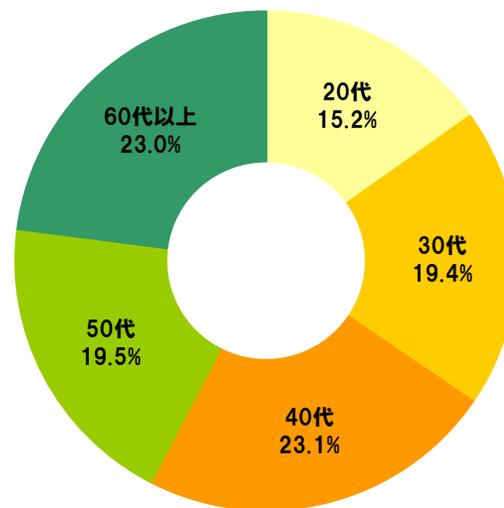
性別

(N=2000)



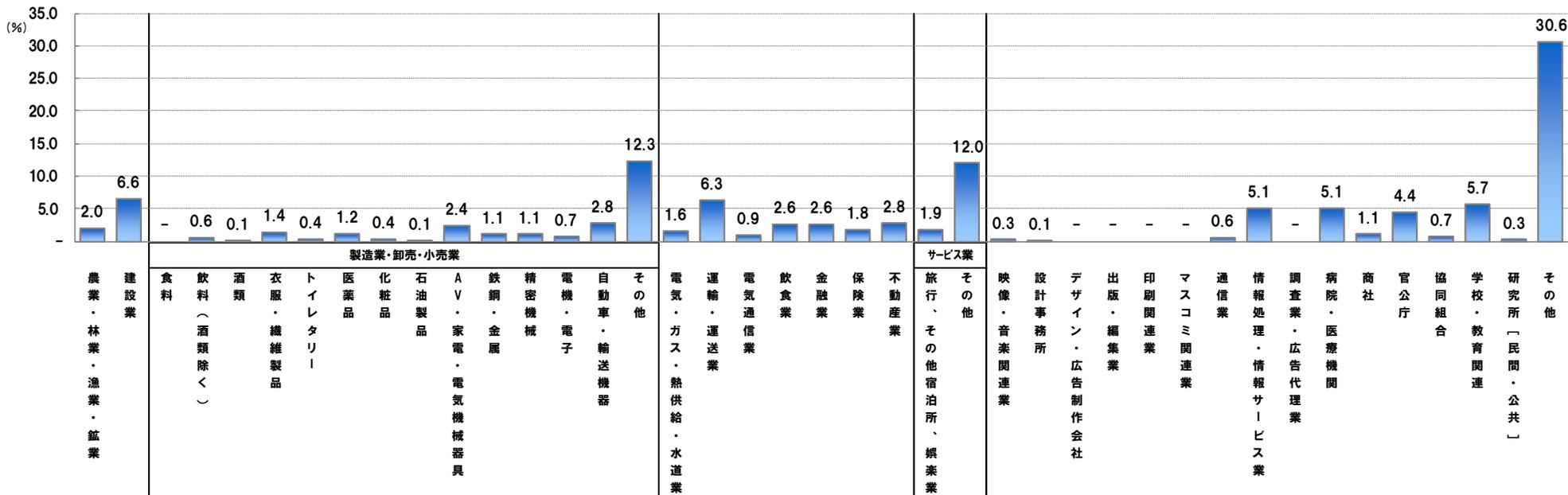
年齢

(N=2000)

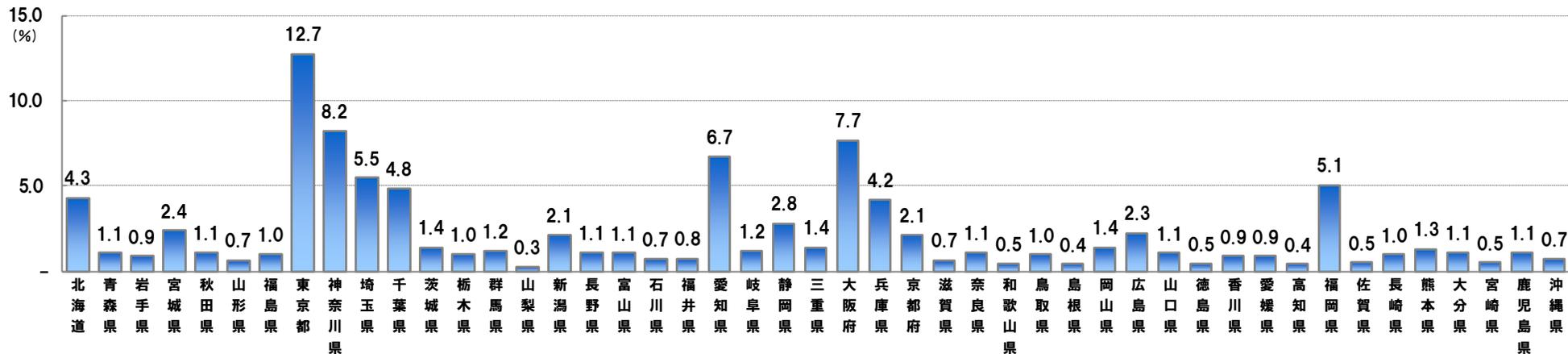


■対象者プロフィール

職業 (N=2000)



地域 (N=2000)

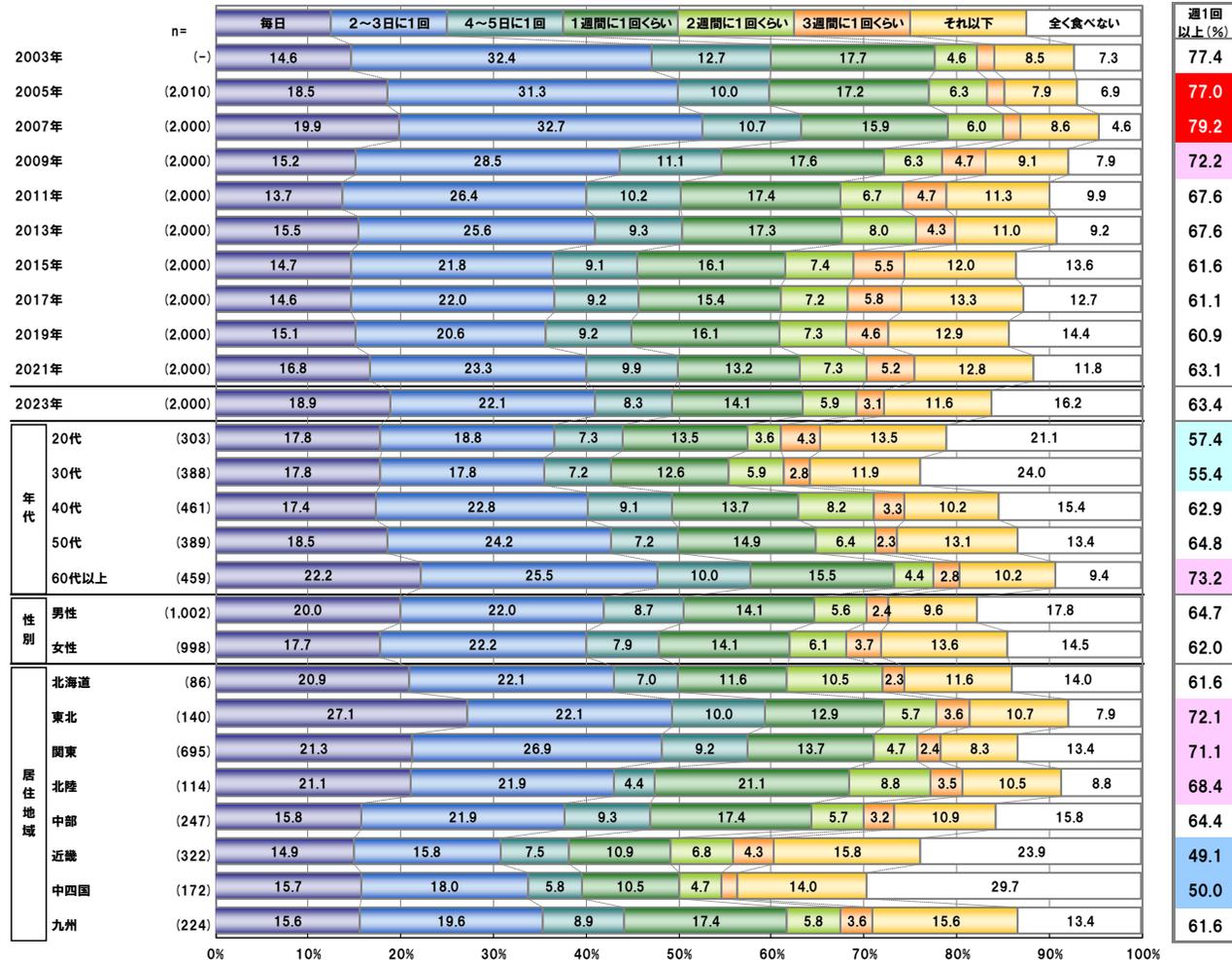


1.納豆の食状況

1.納豆の食頻度

Q5：あなたのご家庭では納豆をどれくらいの頻度で召し上がりますか。（回答は1つ）[S/A]

- 納豆の食頻度について最も高いのは、「2～3日に1回」(22.2%)である。次いで「毎日」(18.9%)、「全く食べない」(16.2%)、「1週間に1回くらい」(14.1%)と続く。
- 年代で見ると、年代が上がるにつれて、「週1回以上」が高くなる傾向。
- 居住地で見ると、近畿、中四国は「全く食べない」が最も高い。



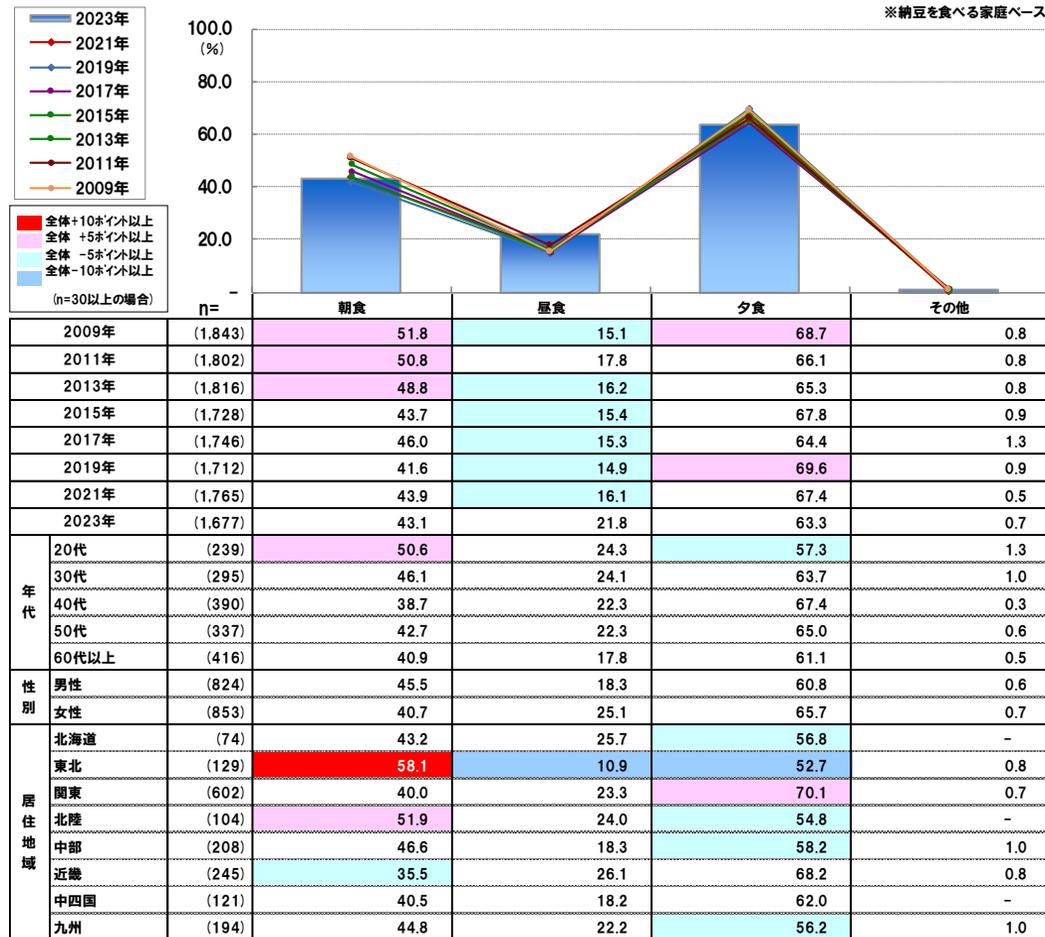
※2003年のn数は不明

■ 全体+10ポイント以上
■ 全体 +5ポイント以上
■ 全体 -5ポイント以上
■ 全体-10ポイント以上
 (n=30以上の場合)

2.納豆を食べる時間帯

Q6：あなたのご家庭では、納豆をいつ召し上がっていますか。（回答はいくつでも）[M/A]

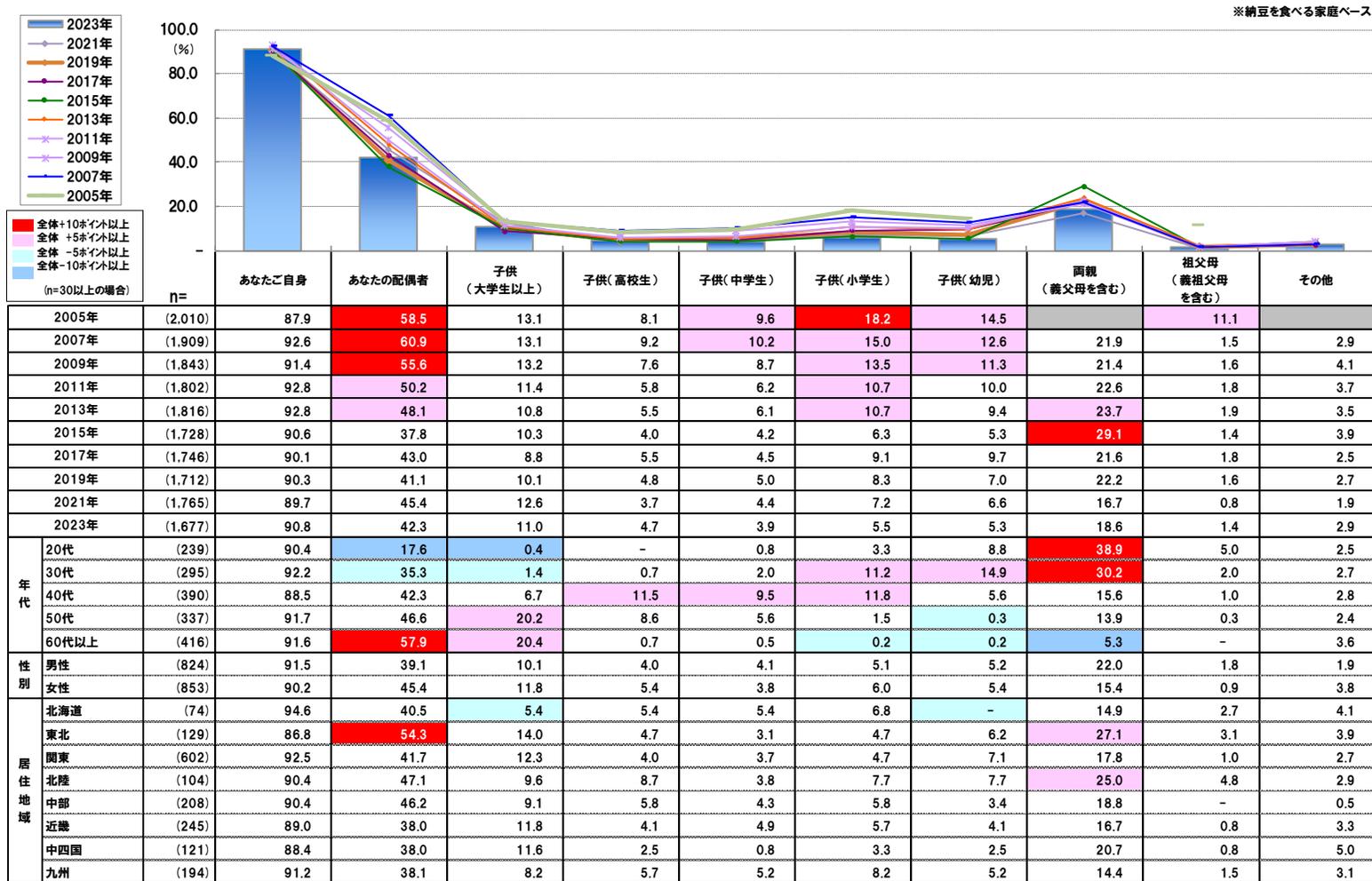
- 納豆を食べる時間帯について最も高いのは、「夕食」(63.3%)である。次いで「朝食」(43.1%)、「昼食」(21.8%)と続く。



3.納豆を食べる人

Q7：あなたのご家庭で納豆を召し上がるのはどなたですか。召し上がる方を全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも） [M/A]

- 納豆を食べる人について最も高いのは、「あなたご自身」(90.8%)である。次いで「あなたの配偶者」(42.3%)、「両親（義父母を含む）」(18.6%)、「子供（大学生以上）」(11.0%)と続く。
- 年代でみると、20代、30代は「両親（義父母を含む）」の割合が全体よりも高い。
- 2021年と比較すると、特に大きな変化はみられない。

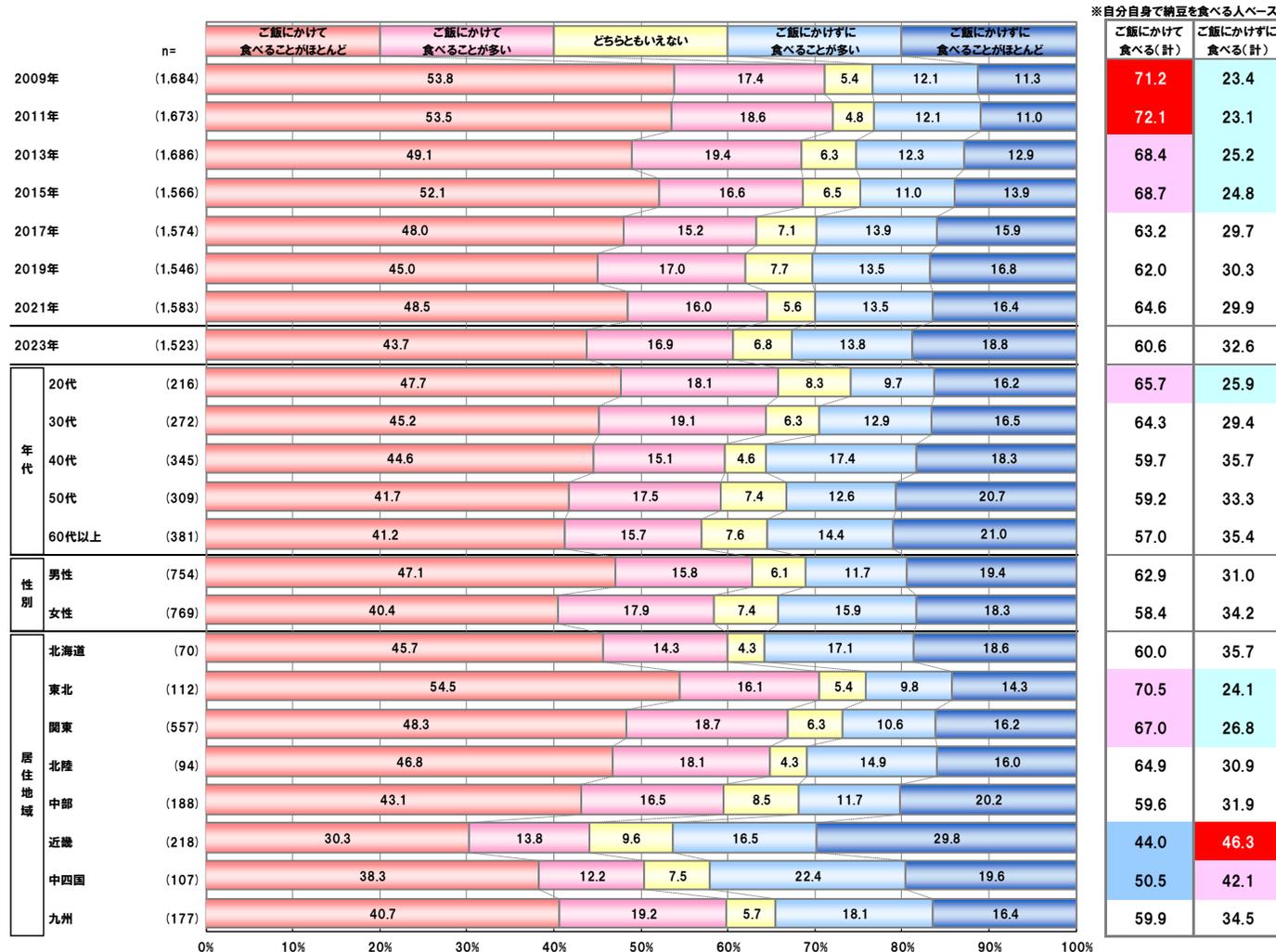


*…2005年非聴取項目

4.納豆の食べ方

Q9：あなたが納豆を「ごはんにかけて食べる」割合をお聞かせください。（回答は1つ）[S/A]

- 納豆の食べ方については、「ご飯にかけて食べることがほとんど」は43.7%、「ご飯にかけて食べることが多い」(16.9%)を合計すると60.6%である。
- 居住地でみると、東北、関東は「ご飯にかけて食べる(計)」、近畿、中四国は「ご飯にかけずに食べる(計)」が高い傾向。
- 2021年と比較すると、特に大きな変化はみられない。

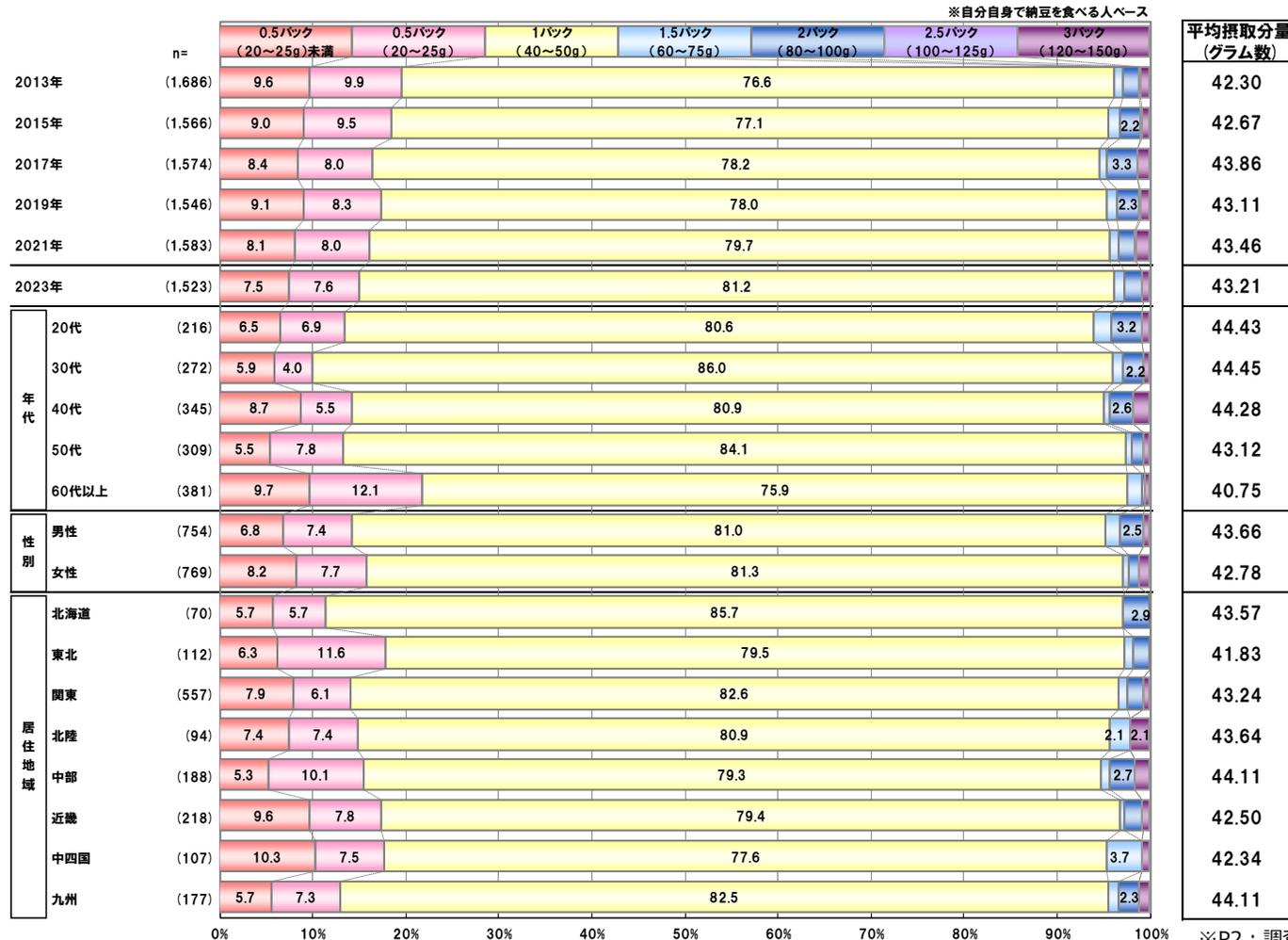


■ 全体+10ポイント以上
■ 全体 +5ポイント以上
■ 全体 -5ポイント以上
■ 全体-10ポイント以上
 (n=30以上の場合)

5. 1食あたりのごはんに納豆をかけて食べる量

Q10：また、あなたは1食あたりどのくらいの量の納豆をごはんにかけて食べますか。（回答は1つ）※容量（グラム数）は、一般的なパックでの容量となります。※カップでの容量目安は、30～39g程度になりません。[S/A]

- 1食あたりのごはんに納豆をかけて食べる量について最も高いのは、「1パック（40～50g）」(81.2%)である。次いで「0.5パック（20～25g）」(7.6%)、「0.5パック（20～25g）未満」(7.5%)と続く。

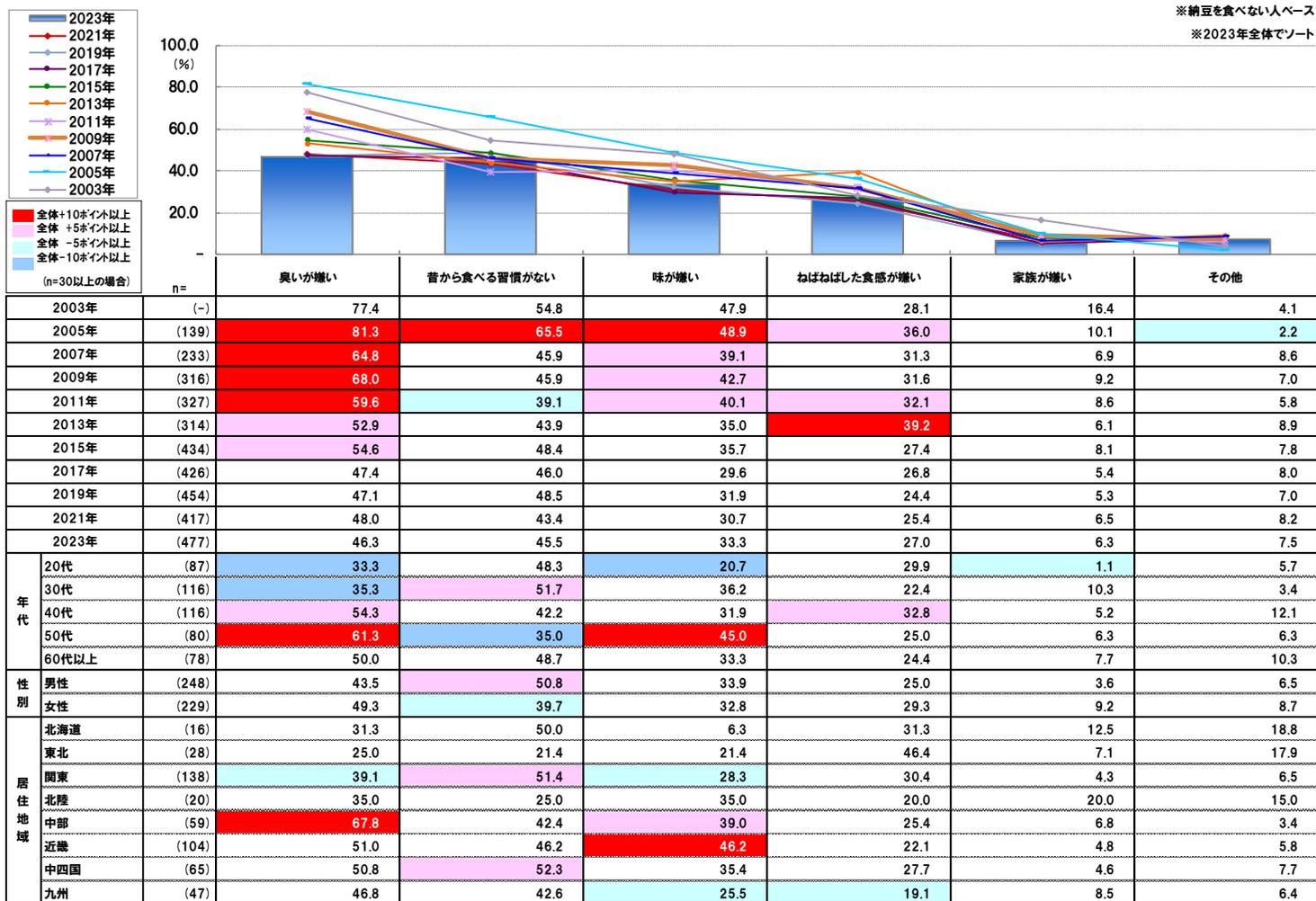


※P2：調査概要 に算出方法を掲載しております。

6.納豆を食べない理由

Q11：あなたが納豆をお食べにならないのはどのような理由からですか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

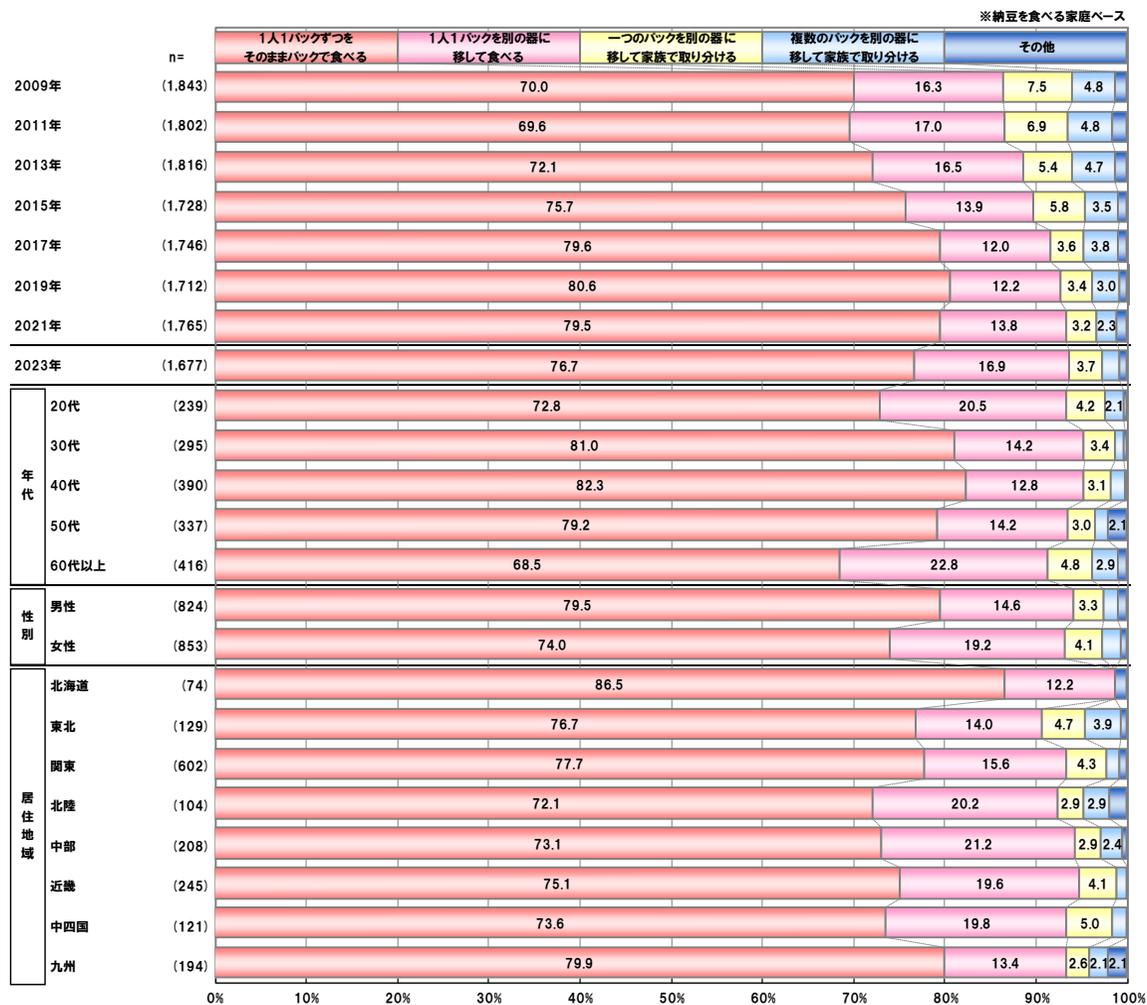
- 納豆を食べない理由について最も高いのは、「臭いが嫌い」(46.3%)である。次いで、「昔から食べる習慣がない」(45.5%)、「味が嫌い」(33.3%)、「ねばねばした食感が嫌い」(27.0%)と続く。
- 年代で見ると、50代は「臭いが嫌い」「味が嫌い」が高い。
- 居住地で見ると、中部は「臭いが嫌い」が高く、近畿は「味が嫌い」が高い。
- 2021年と比較すると、特に大きな変化はみられない。



7.納豆の分け方

Q12：あなたのご家庭では、納豆を食べるときに、どのように分けていますか。[S/A]

- 納豆の分け方について最も高いのは、「1人1パックずつをそのままパックで食べる」(76.7%)である。次いで「1人1パックを別の器に移して食べる」(16.9%)、「1パックを別の器に移して、家族で取り分ける」(3.7%)と続く。

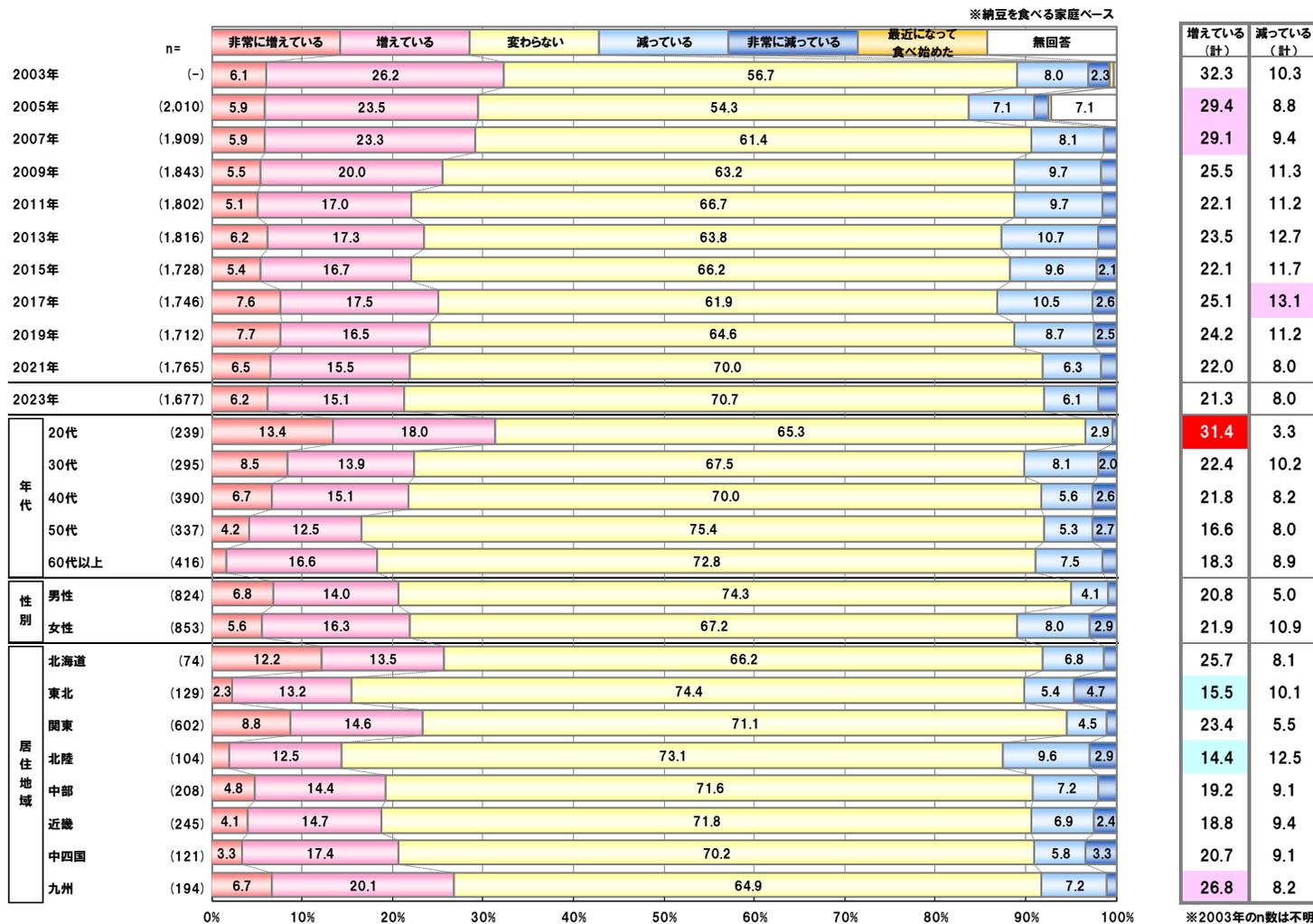


※「1人1パックを別の器に移して食べる」は、2013年では「1人1パックを容器に移して食べる」。

8.納豆を食べる頻度の増減

Q13：あなたのご家庭で納豆を食べる頻度は以前に比べて増えていますか。（回答は1つ）[S/A]

■ 納豆を食べる頻度の増減については、「非常に増えている」は6.2%、「増えている」(15.1%)を合計すると21.3%である。

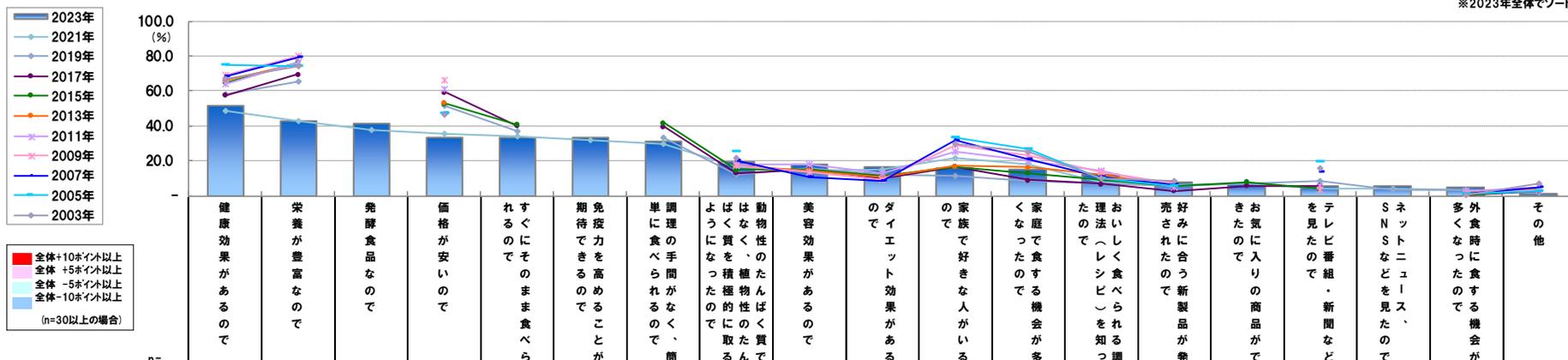


9.納豆を食べる頻度が増えた理由

Q14：あなたのご家庭で納豆を食べる頻度が増えたのはどのような理由からですか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 納豆を食べる頻度が増えた理由について最も高いのは、「健康効果があるので」(51.4%)である。次いで「栄養が豊富なので」(43.0%)、「発酵食品なので」(41.3%)、「価格が安いので」「すぐにそのまま食べられるので」(33.5%)と続く。
- 年代でみると、50代以上は「健康効果があるので」「栄養が豊富なので」「発酵食品なので」「免疫力を高めることが期待できるので」が高い傾向。
- 2021年と比較すると、「家族で好きな人がいるので」の割合が低下している。

※食べる頻度が増えている家庭ベース
※2023年全体でソート



n=		健康効果があるので	栄養が豊富なので	発酵食品なので	価格が安いので	すぐにそのまま食べられるので	期待できることが	単に食べられるので	調理の手間がなく、簡単に食べられるので	よくはく、積極的に取るようになったので	動物性のたんぱく質はなく、植物性のたんぱく質を積極的に取るようになったので	美容効果があるので	ダイエット効果があるので	家族で好きな人がいるので	家庭で食する機会が多くなったので	たの法いしく食べられる調理法（レシピ）を知ったので	おいしく食べられる調理法（レシピ）を知ったので	売されたので	好みに合う新製品が発売されたので	お気に入りの商品ができたので	テレビ番組・新聞などを見たので	SNSなどをみたので	ネットニュース、SNSなどをみたので	多くなったので	外食時に食する機会が多くなったので	その他
2003年	(-)	66.6	74.3		46.6					21.3				29.3	24.9	10.0	8.5				15.4				0.3	6.7
2005年	(590)	74.9	74.4		46.9					25.4				33.2	26.4	9.7	5.8				19.0				1.4	2.9
2007年	(556)	68.0	79.1		47.3					20.3	10.4	8.3	8.3	31.7	21.0	10.6	5.9				13.5				1.3	4.5
2009年	(470)	68.9	79.6		65.7					17.0	13.6	9.4	9.4	28.5	23.2	13.8	6.8				3.6				0.9	3.6
2011年	(398)	63.6	76.4		61.1					17.8	17.6	12.8	12.8	25.1	20.1	14.3	4.5				5.3				2.3	5.0
2013年	(427)	66.0	75.4		52.9					17.3	14.5	10.3	10.3	17.1	16.2	12.2	5.6				4.7				1.6	3.7
2015年	(382)	64.9	76.4		52.6	40.6		41.6	14.9	14.7	11.5	11.5	16.8	12.8	12.8	9.2	5.2	7.9			3.9				0.5	3.4
2017年	(438)	57.3	69.4		59.1	40.0		39.5	13.0	15.3	10.0	10.0	16.7	8.9	8.9	6.6	2.7	5.5	5.7						0.7	2.7
2019年	(414)	57.7	65.0		51.4	37.0		32.9	12.3	15.5	12.3	11.6	11.6	8.2	8.2	7.2	5.3	7.0	7.0	8.7	3.4				3.1	1.9
2021年	(388)	48.2	42.5	37.4	35.3	33.8	31.7	29.6	16.8	14.4	14.7	21.6	17.5	21.6	17.5	8.0	5.9	6.7	3.9	4.1					3.6	1.5
2023年	(358)	51.4	43.0	41.3	33.5	33.5	33.2	30.7	19.6	18.2	16.2	15.6	14.8	12.0	12.0	7.8	7.0	7.0	5.6	5.6	5.0				5.0	0.8
年代	20代	(75)	33.3	26.7	21.3	33.3	20.0	13.3	28.0	13.3	20.0	13.3	10.7	10.7	10.7	9.3	10.7	8.0	5.3	2.7					8.0	-
	30代	(66)	37.9	28.8	31.8	31.8	34.8	28.8	25.8	13.6	25.8	19.7	13.6	19.7	16.7	7.6	6.1	6.1	7.6	6.1					7.6	-
	40代	(85)	50.6	47.1	41.2	29.4	34.1	31.8	27.1	15.3	17.6	20.0	16.5	16.5	8.2	5.9	2.4	3.5	8.2	4.7					4.7	1.2
	50代	(56)	73.2	58.9	58.9	41.1	35.7	44.6	42.9	25.0	17.9	21.4	14.3	8.9	10.7	5.4	8.9	8.9	3.6	3.6					3.6	1.8
	60代以上	(76)	65.8	55.3	56.6	34.2	43.4	50.0	32.9	31.6	10.5	7.9	22.4	17.1	15.8	9.2	10.5	5.3	5.3	5.3					1.3	1.3
性別	男性	(171)	43.9	38.0	35.1	31.0	29.2	31.6	23.4	16.4	17.0	11.1	8.2	15.8	12.9	8.2	7.0	5.8	9.4	7.0					7.0	1.2
	女性	(187)	58.3	47.6	47.1	35.8	37.4	34.8	37.4	22.5	19.3	20.9	22.5	13.9	11.2	7.5	7.0	5.3	2.1	3.2					3.2	0.5
居住地域	北海道	(19)	57.9	47.4	63.2	42.1	36.8	52.6	26.3	10.5	26.3	15.8	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	5.3						-	-
	東北	(20)	40.0	45.0	40.0	35.0	55.0	35.0	25.0	25.0	20.0	25.0	10.0	10.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	10.0					10.0	-
	関東	(141)	53.2	41.1	39.0	36.2	29.8	34.8	33.3	19.9	25.5	17.7	20.6	16.3	16.3	7.1	7.8	7.1	5.0	5.7					5.7	1.4
	北陸	(15)	46.7	40.0	26.7	33.3	20.0	26.7	13.3	40.0	6.7	20.0	13.3	6.7	13.3	-	-	6.7	13.3	6.7					6.7	-
	中部	(40)	37.5	32.5	45.0	32.5	37.5	27.5	30.0	10.0	10.0	10.0	2.5	10.0	5.0	10.0	2.5	5.0	2.5	2.5					2.5	2.5
	近畿	(46)	54.3	43.5	41.3	21.7	30.4	19.6	28.3	15.2	6.5	6.5	15.2	17.4	8.7	10.9	4.3	-	4.3	8.7					8.7	-
	中四国	(25)	56.0	56.0	36.0	36.0	36.0	40.0	36.0	20.0	16.0	16.0	12.0	16.0	-	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0					4.0	-
九州	(52)	55.8	48.1	44.2	32.7	36.5	36.5	32.7	25.0	15.4	21.2	15.4	11.5	11.5	9.6	3.8	9.6	3.8	3.8					-	-	

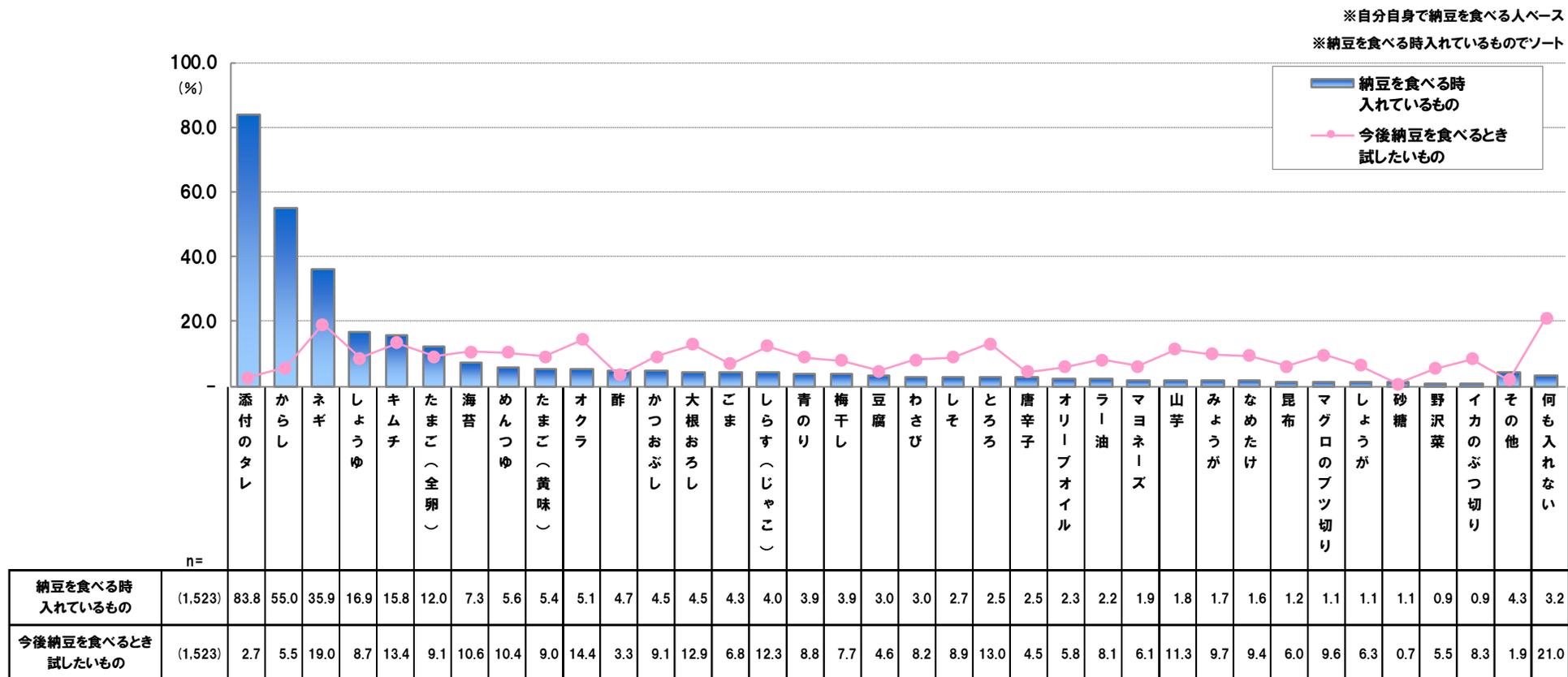
*→2003～2013年非聴取項目/2003年のn数は不明

※参考：納豆を食べるとき入れているもの／今後納豆を食べるとき試したいもの

Q16：あなたは納豆を食べるとき、どのようなものを入れていますか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

Q17：今後、納豆を食べるとき、どのようなものを入れて試したいと思われませんか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 『納豆を食べる時入れているもの』は、「添付のタレ」(83.8%)、「からし」(55.0%)、「ネギ」(35.9%)が上位である。
- 『今後納豆を食べるとき試したいもの』、「ネギ」(19.0%)、「オクラ」(14.4%)、「キムチ」(13.4%)が上位である。

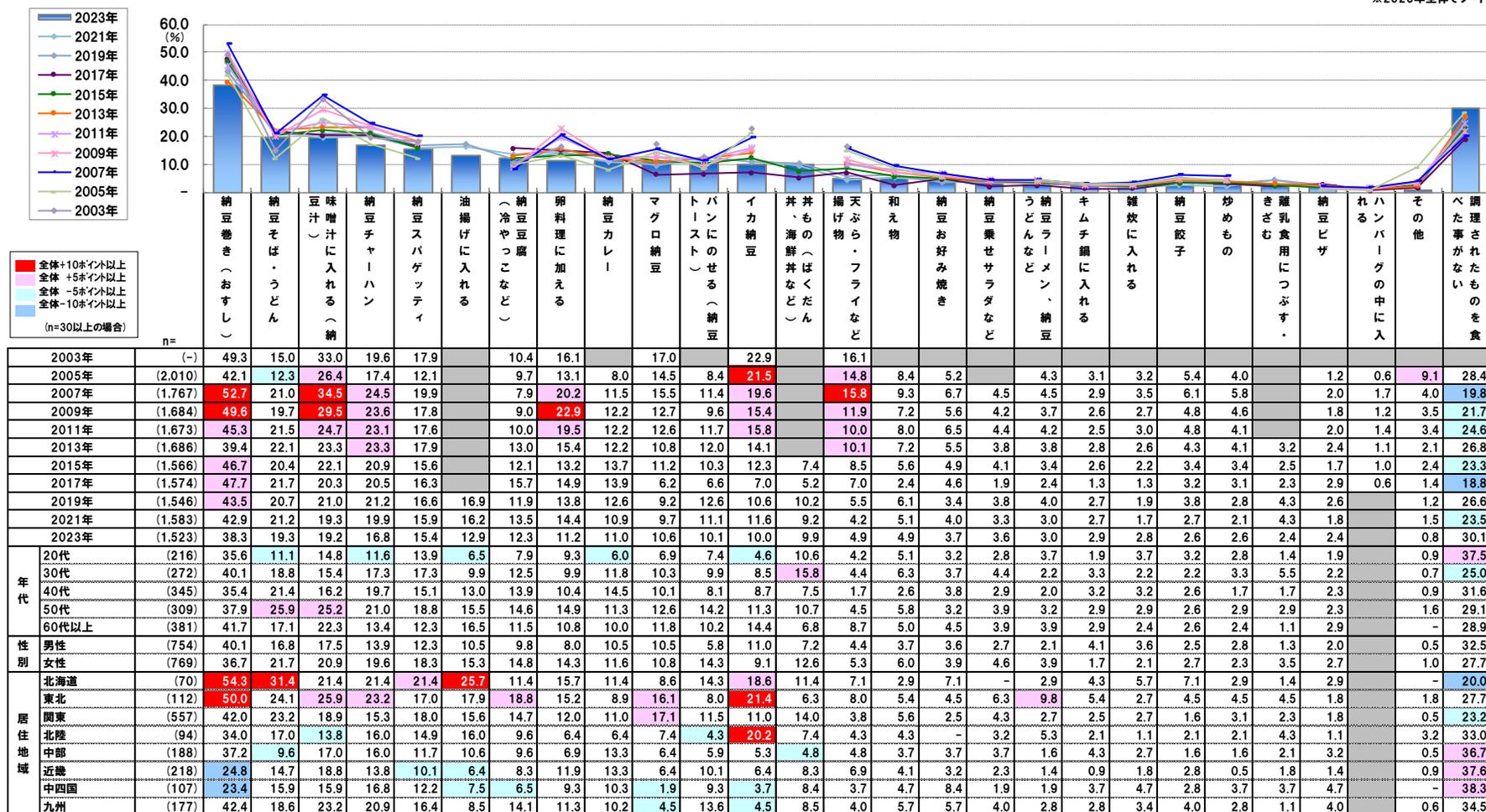


12. 家庭で試したことのある調理法

Q18：次のうち、あなたが納豆を食べるとき、ご家庭で試したことのあるメニュー・調理法はありますか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 家庭で試したことのある調理法について最も高いのは、「納豆巻き（おすし）」(38.3%)である。次いで「納豆そば・うどん」(19.3%)、「味噌汁に入れる（納豆汁）」(19.2%)、「納豆チャーハン」(16.8%)と続く。
- 居住地でみると、北海道は「納豆巻き（おすし）」「納豆そば・うどん」「油揚げに入れる」の割合が全体よりも高い。
- 2021年と比較すると、「調理されたものを食べた事がない」の割合が上昇している。

※自分自身で納豆を食べる人ベース
※2023年全体でソート

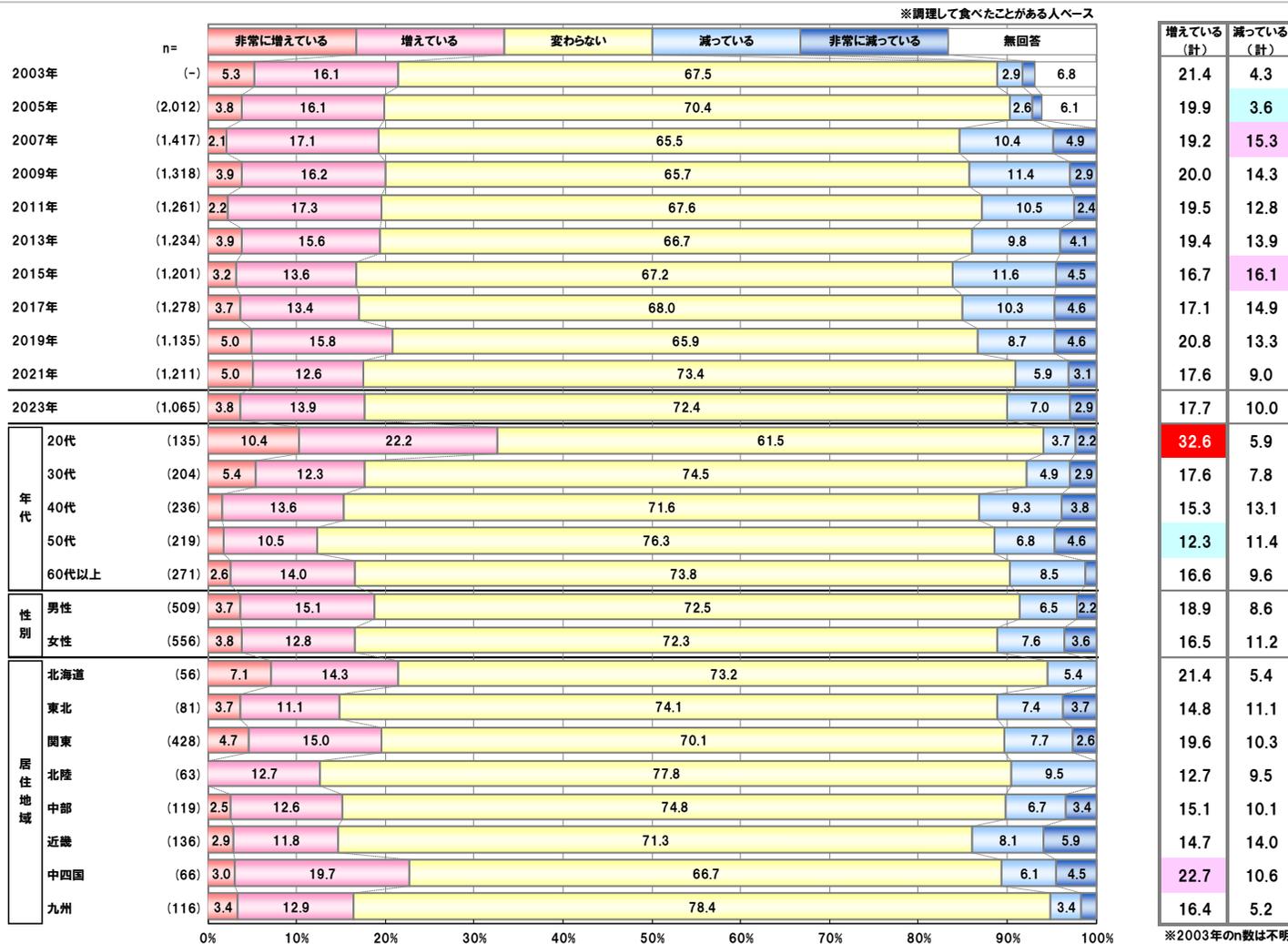


*...2005～2013年非聴取項目/2003年はTOP10項目のみ掲載/2003年のn数は不明

13.他の食材とともに調理して食べることの増減

Q19：また、あなたが納豆を食べるとき、前問で回答された様に、他の食材とともに調理して食べることが以前と比べて増えていますか。（回答は1つ）[S/A]

- 他の食材とともに調理して食べることの増減については、「非常に増えている」は3.8%、「増えている」(13.9%)を合計すると17.7%である。

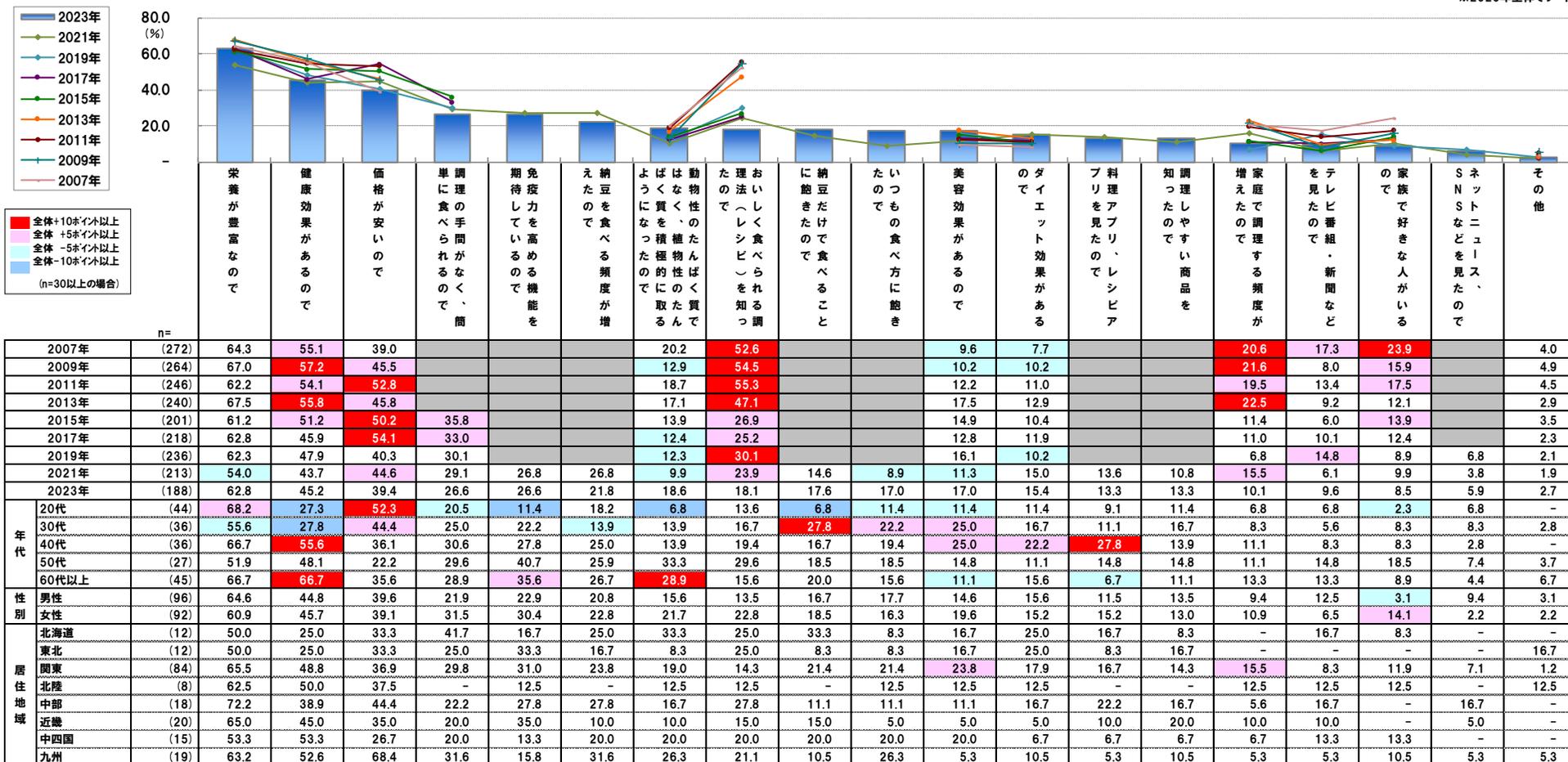


14.他の食材とともに食べる頻度が増えた理由

Q20：あなたが、納豆を他の食材とともに調理して食べる頻度が増えたのはどのような理由からですか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 他の食材とともに食べる頻度が増えた理由について最も高いのは、「栄養が豊富なので」(62.8%)である。次いで「健康効果があるので」(45.2%)、「価格が安いので」(39.4%)、「調理の手間がなく、簡単に食べられるので」(26.6%)と続く。
- 年代で見ると、60代以上は「健康効果があるので」「動物性のたんぱく質ではなく、植物性のたんぱく質を積極的に取るようになったので」の割合が全体よりも高い。
- 2021年と比較すると、「価格が安いので」「おいしく食べられる調理法（レシピ）を知ったので」「家で調理する頻度が増えたので」の割合が低下、「栄養が豊富なので」「動物性のたんぱく質ではなく、植物性のたんぱく質を積極的に取るようになったので」「いつもの食べ方に飽きたので」「美容効果があるので」の割合が上昇している。

※他の食材とともに食べる頻度が増えた人ベース
※2023年全体でソート



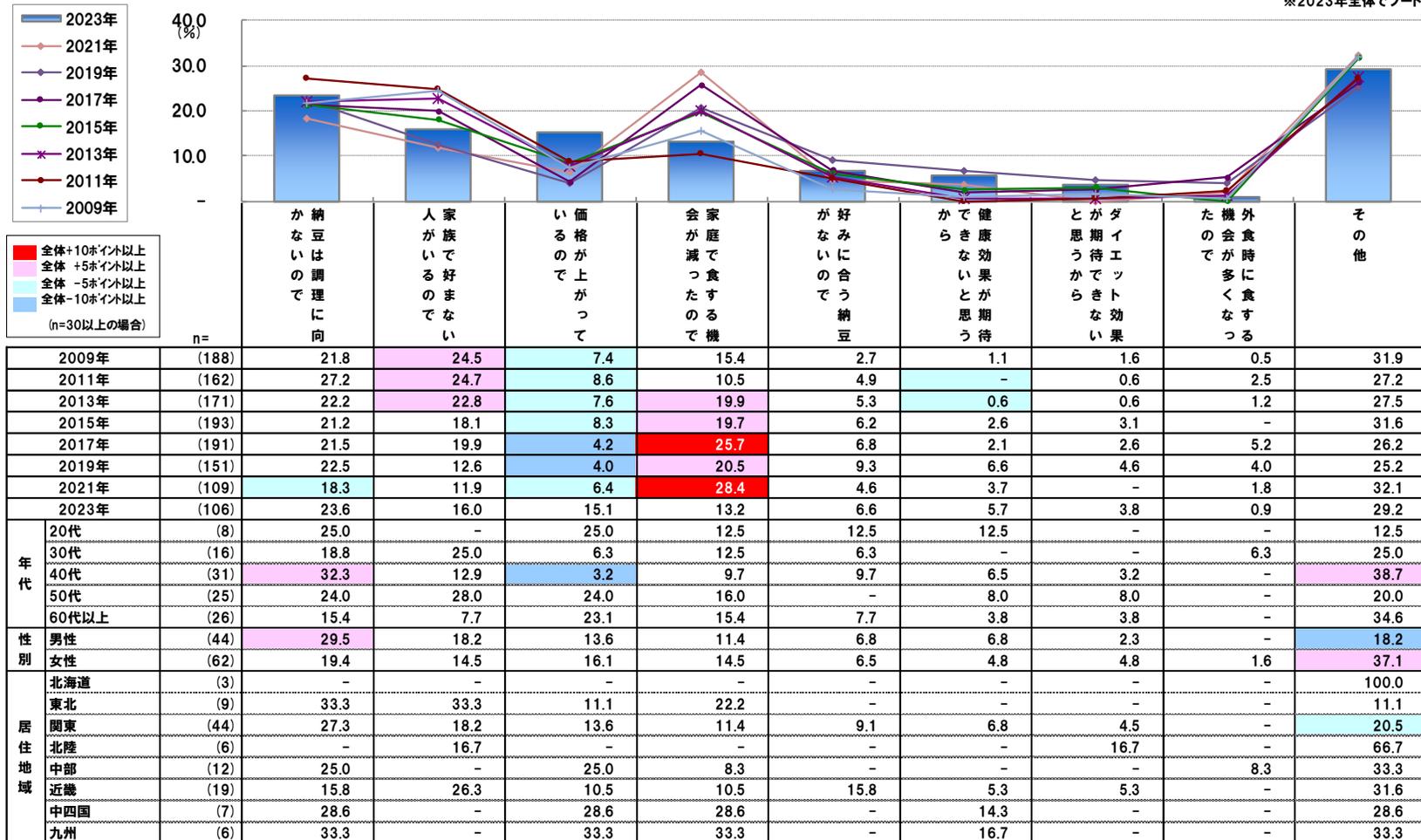
*...2005~2013年非取項目

15.他の食材とともに食べる頻度が減った理由

Q21：あなたが、納豆を他の食材とともに調理して食べる頻度が減ったのはどのような理由からですか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 他の食材とともに食べる頻度が減った理由について最も高いのは、「納豆は調理に向かないので」(23.6%)である。次いで「家族で好まない人がいるので」(16.0%)、「価格が上がっているので」(15.1%)、「家庭で食する機会が減ったので」(13.2%)、と続く。
- 2021年と比較すると、「納豆は調理に向かないので」「価格が上がっているので」の割合が上昇し、「家庭で食する機会が減ったので」の割合が低下している。

※他の食材とともに食べる頻度が減った人ベース
※2023年全体でソート

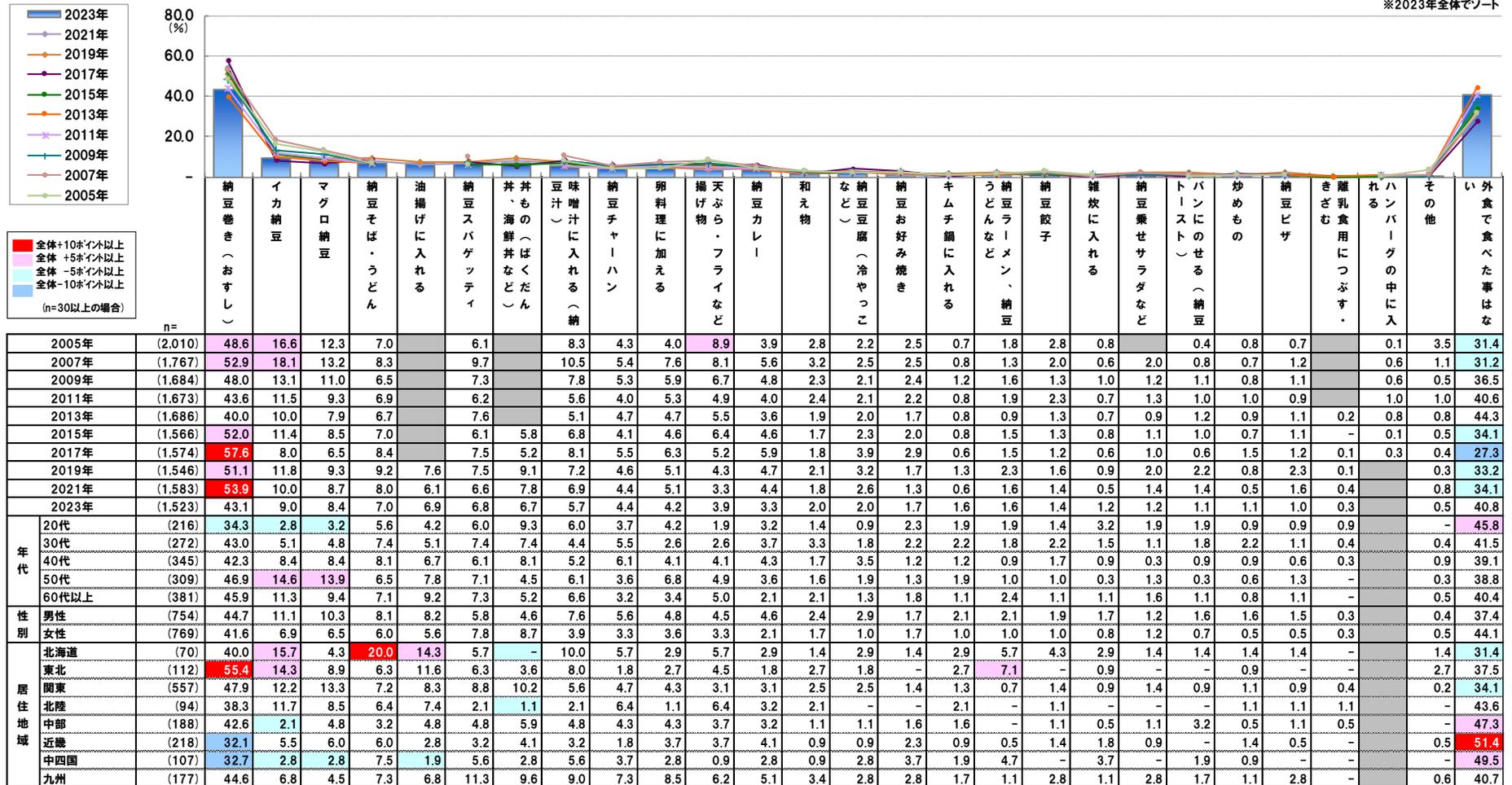


16. 外食で納豆を食べるときに試したことのあるメニュー・調理法

Q22：あなたが、外食で食べたことのある、納豆を使ったメニュー・調理法はありますか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも） [M/A]

- 外食で納豆を食べるときに試したことのあるメニュー・調理法について最も高いのは、「納豆巻き（おすし）」(43.1%)である。次いで「外食で食べた事はない」(40.8%)、「イカ納豆」(9.0%)、「マグロ納豆」(8.4%)と続く。
- 2021年と比較すると、「納豆巻き（おすし）」の割合が低下している。

※自分自身で納豆を食べる人ベース
※2023年全体でソート

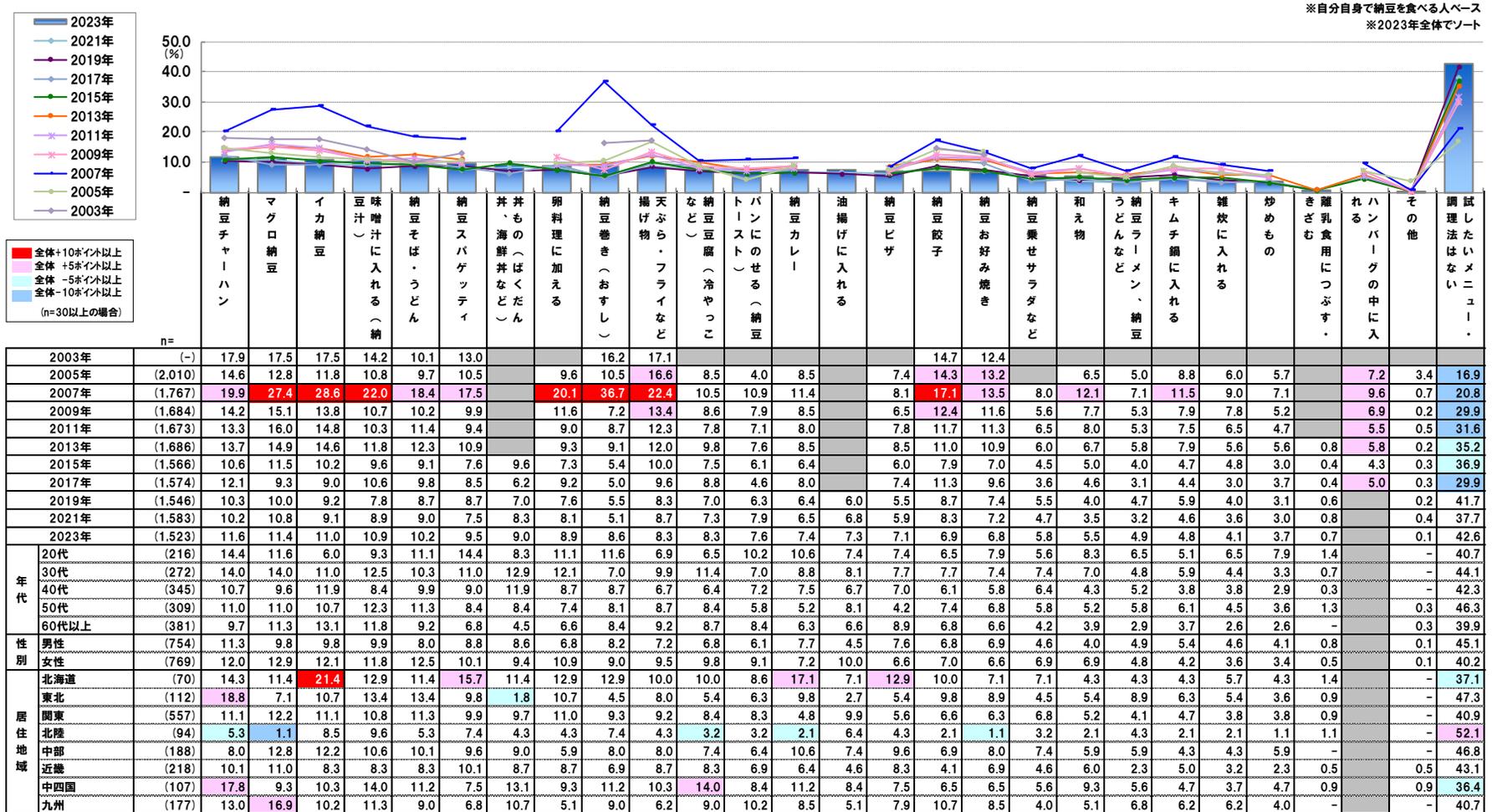


*...2005~2013年非聴取項目

17. 今後試してみたいと思われるメニュー・調理法

Q23：では、あなたが、ご家庭や外食で納豆を召し上がるときに、今後試してみたいと思われるメニュー・調理法はありますか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも） [M/A]

- 今後試してみたいと思われるメニュー・調理法について最も高いのは、「試したいメニュー・調理法はない」(42.6%)である。次いで「納豆チャーハン」(11.6%)、「マグロ納豆」(11.4%)、「イカ納豆」(11.0%)と続く。
- 2021年と比較すると、特に大きな変化はみられない。

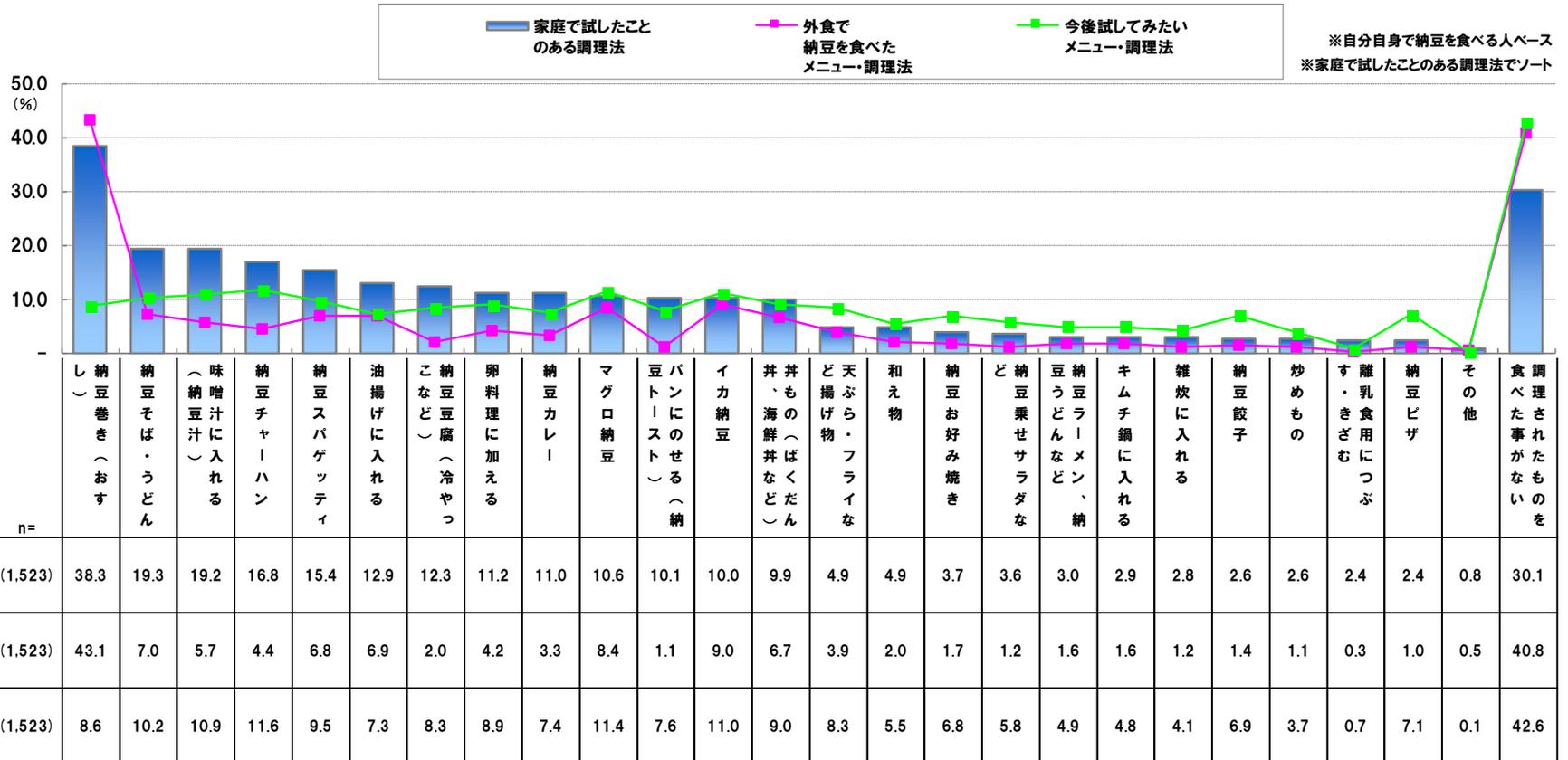


*...2005~2013年非聴取項目/2003年はTOP10項目のみ掲載/2003年のn数は不明
※2007年はこれまでに試したことのあるメニュー・調理法も含めた回答

※参考：家庭で試したことのある調理法／外食で納豆を食べたことのあるメニュー・調理法／今後試してみたいメニュー・調理法

Q18：次のうち、あなたが納豆を食べるとき、ご家庭で試したことのあるメニュー・調理法はありますか。 / Q22：あなたが、外食で食べたことのある、納豆を使ったメニュー・調理法はありますか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。 / Q23：では、あなたが、ご家庭や外食で納豆を召し上がるときに、今後試してみたいと思われるメニュー・調理法はありますか。

- 家庭で試したことのある調理法は、「納豆巻き（おすし）」(38.3%)、「納豆そば・うどん」(19.3%)、「味噌汁に入れる（納豆汁）」(19.2%)が上位である。
- 外食で納豆を食べるときに試したことのあるメニュー・調理法は、「納豆巻き（おすし）」(43.1%)、「イカ納豆」(9.0%)、「マグロ納豆」(8.4%)が上位である。
- 今後試してみたいと思われるメニュー・調理法は、「納豆チャーハン」(11.6%)、「マグロ納豆」(11.4%)、「イカ納豆」(11.0%)が上位である。

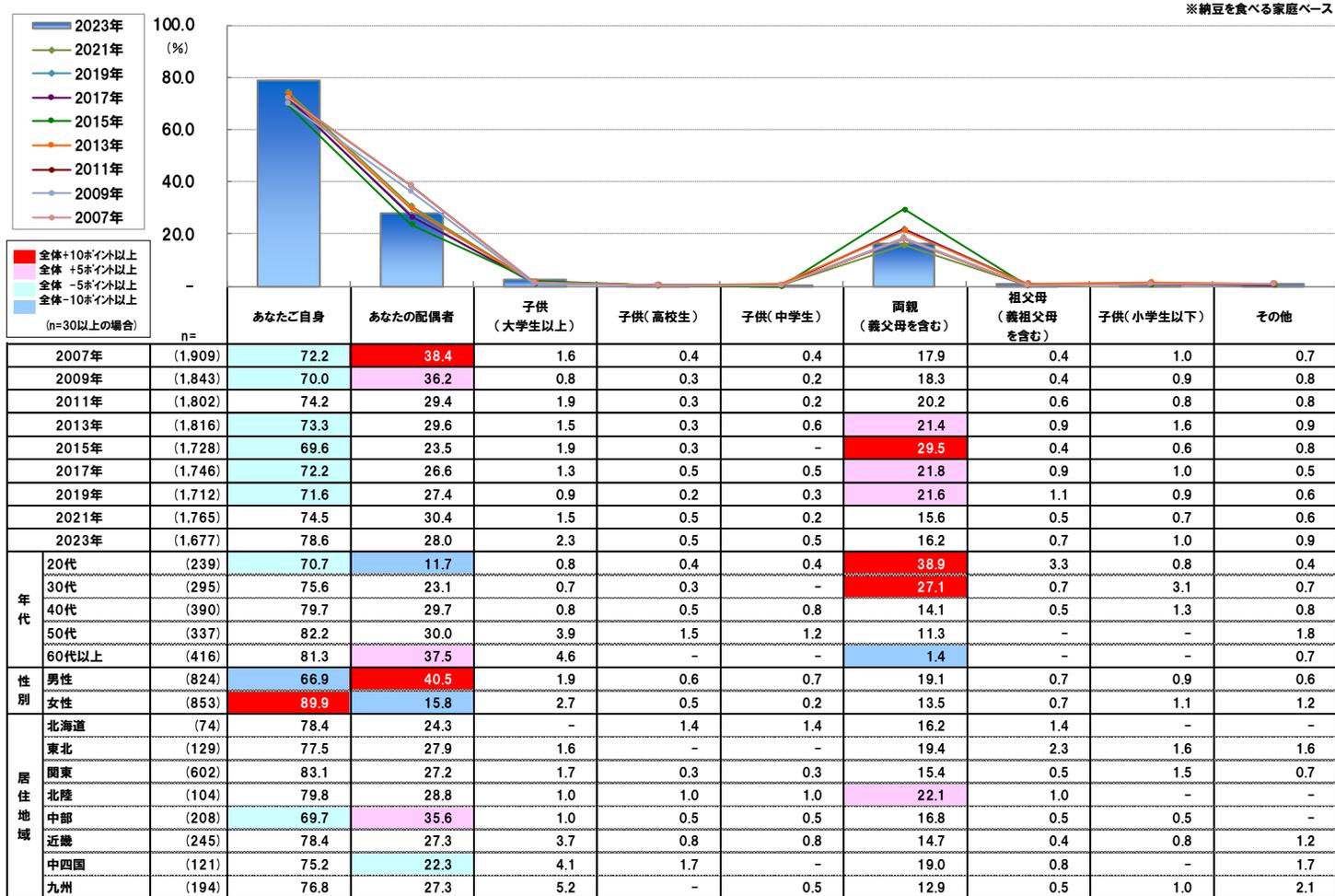


2.納豆の購入状況

1.納豆購入者

Q24：あなたのご家族の中で、ご家庭で召し上がる用の納豆を実際に購入している方をお知らせください。当てはまる方を全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 納豆購入者について最も高いのは、「あなたご自身」(78.6%)である。次いで「あなたの配偶者」(28.0%)、「両親（義父母を含む）」(16.2%)、「子供（大学生以上）」(2.3%)と続く。
- 年代で見ると、20代、30代は「両親（義父母を含む）」の割合が全体よりも高い。
- 性別で見ると、男性は「あなたの配偶者」の割合が全体よりも高い。
- 2021年と比較すると、特に大きな変化はみられない。

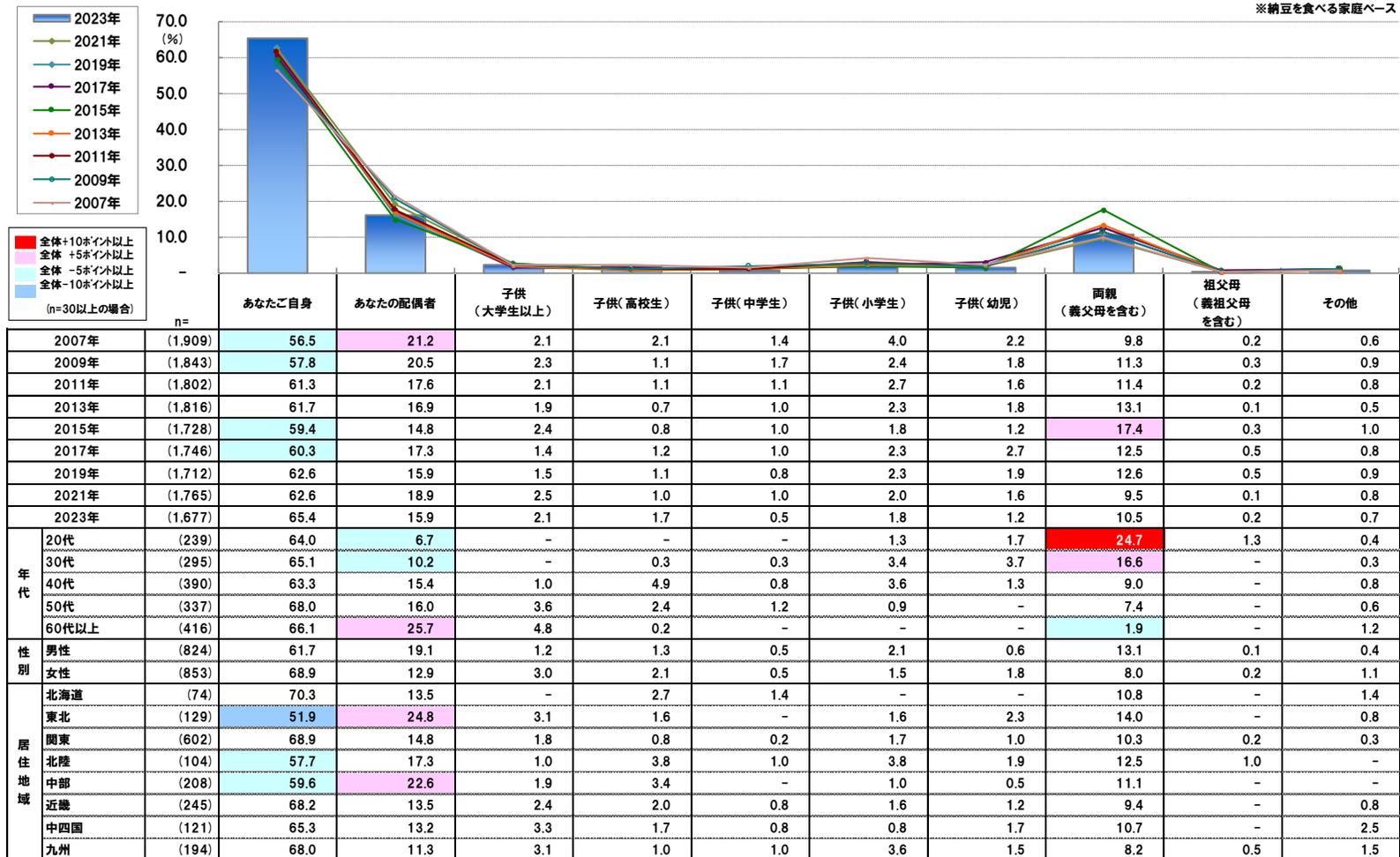


※2017年以前の「子供(小学生以下)」は、「子供(小学生)」+「子供(幼児)」を合算して記載

2.納豆の好みを考慮する人

Q25：あなたのご家庭では、ご家庭で召し上がる納豆は、どなたの好みに合わせて購入していますか。最も当てはまる方を1人お知らせ下さい。（回答は1つ）[S/A]

- 納豆の好みを考慮する人について最も高いのは、「あなたご自身」(65.4%)である。次いで「あなたの配偶者」(15.9%)、「両親（義父母を含む）」(10.5%)、「子供（大学生以上）」(2.1%)と続く。

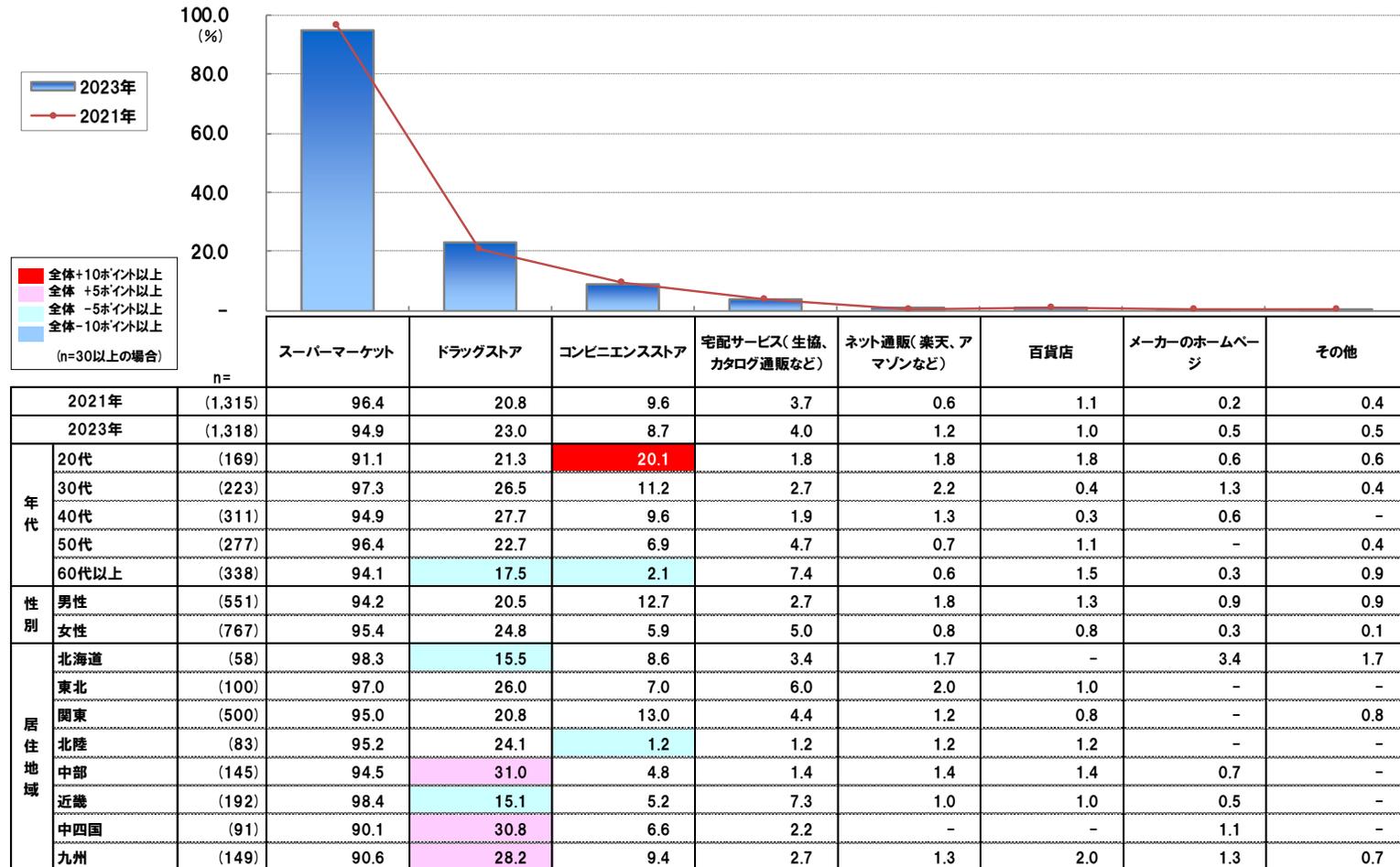


3-1.納豆の購入場所①

Q26：あなたは、納豆をどこで購入していますか？あてはまる選択肢をすべてお知らせください。（回答はいくつでも） [M/A]

- 納豆の購入場所について最も高いのは、「スーパーマーケット」(94.9%)である。次いで「ドラッグストア」(23.0%)、「コンビニエンスストア」(8.7%)、「宅配サービス（生協、カタログ通販など）」(4.0%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「コンビニエンスストア」の割合が全体よりも高い。

※納豆を自分自身で購入する人ベース
※2023年全体でソート

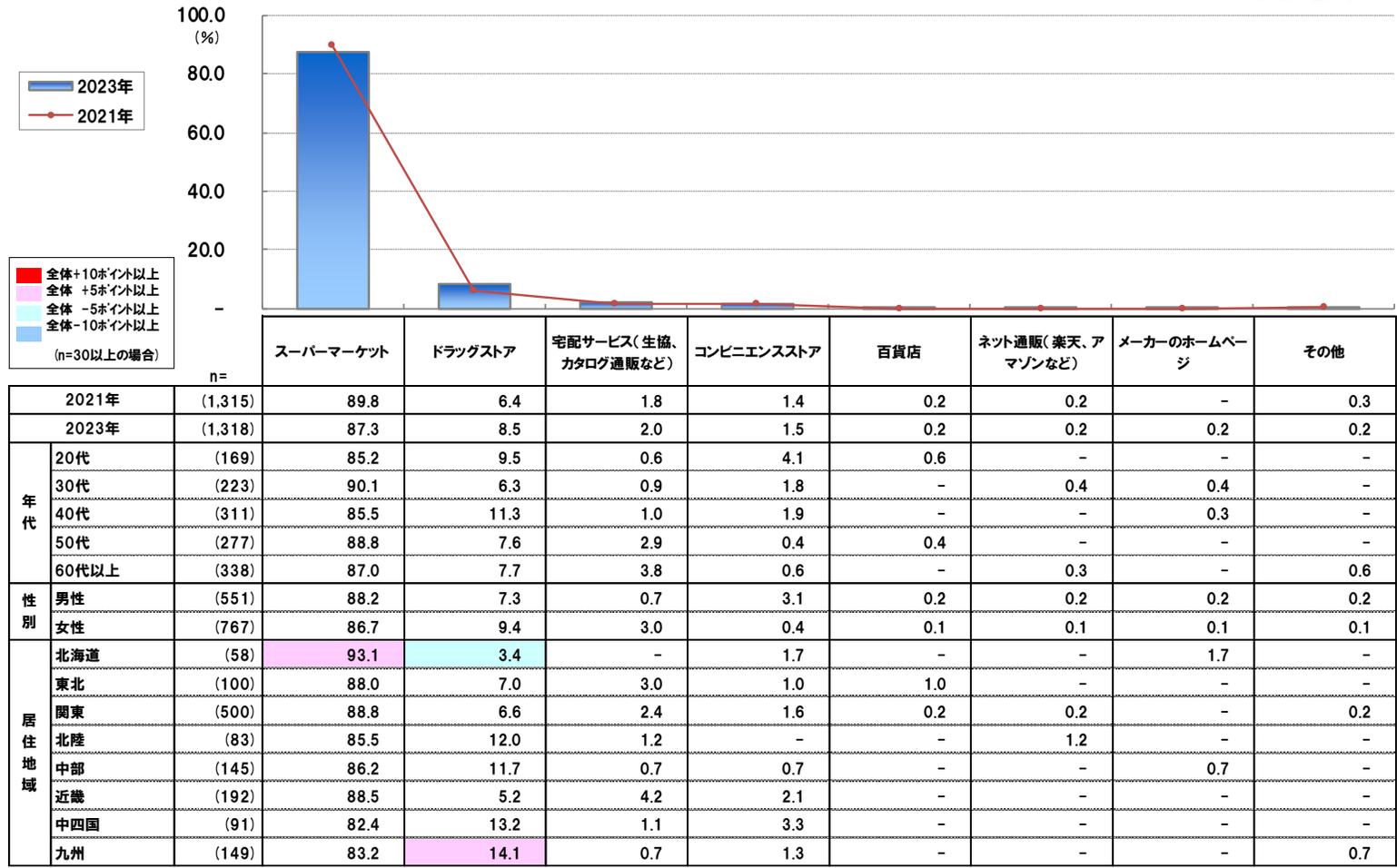


3-2.納豆の購入場所②(最も多い場所)

Q27：前問でお答えになった、納豆の購入場所のうち最も多い場所をお知らせください。(回答は一つ) [S/A]

- 納豆の購入場所で最も多い場所については、「スーパーマーケット」(87.3%)である。次いで、「ドラッグストア」(8.5%)、「宅配サービス(生協、カタログ通販など)」(2.0%)と続く。

※納豆を自分自身で購入する人ベース
※2023年全体でソート

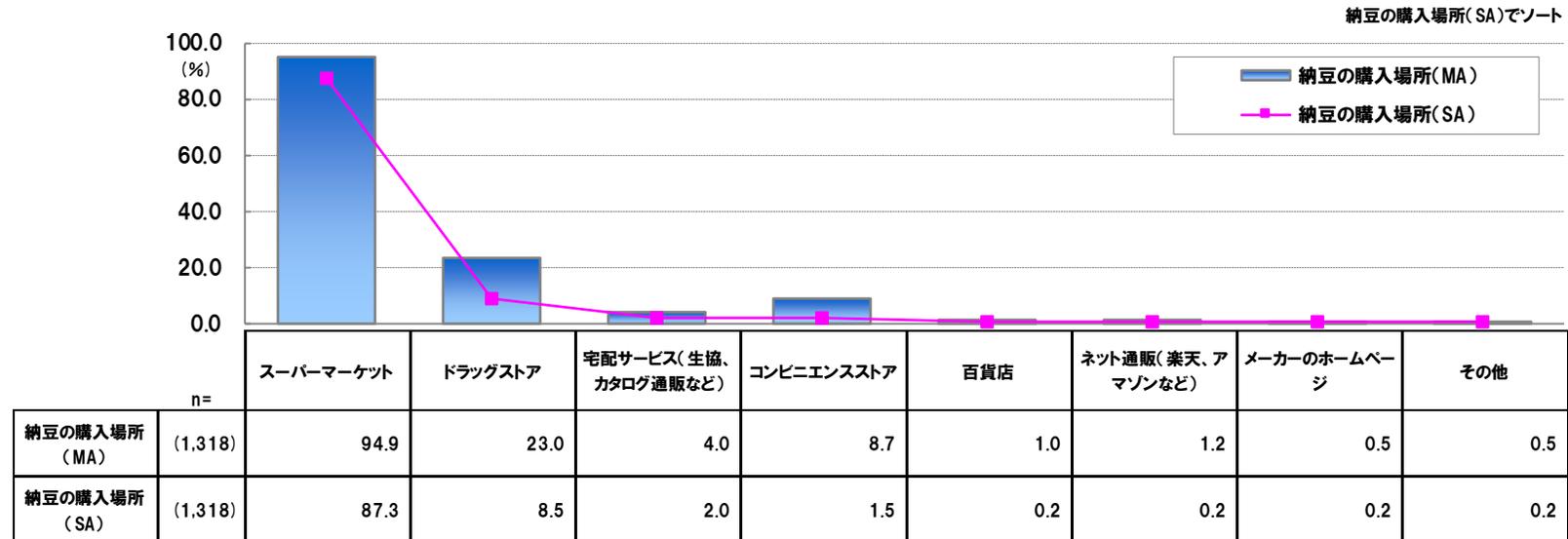


■ 全体+10ポイント以上
■ 全体 +5ポイント以上
■ 全体 -5ポイント以上
■ 全体-10ポイント以上
(n=30以上の場合)

※参考：納豆購入チャンネル比較（普段利用、最も好きな理由）

Q26：あなたは、納豆をどこで購入していますか？あてはまる選択肢をすべてお知らせください。/ Q27：前問でお答えになった、納豆の購入場所のうち最も多い場所をお知らせください。

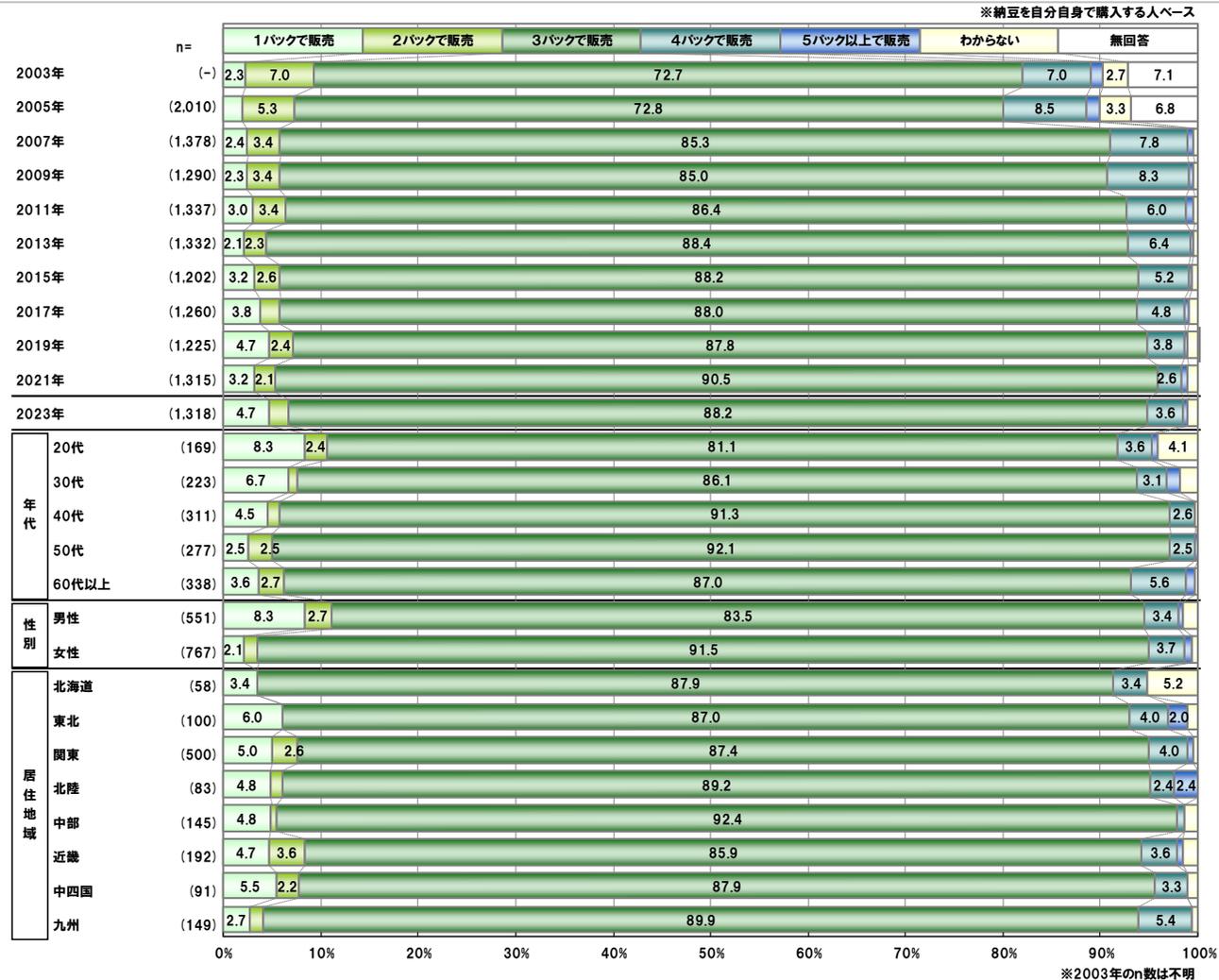
- 納豆の購入場所は、「スーパーマーケット」(94.9%)、「ドラッグストア」(23.0%)、「コンビニエンスストア」(8.7%)が上位である。
- 最も多い購入場所は、「スーパーマーケット」(87.3%)、「ドラッグストア」(8.5%)、「宅配サービス（生協、カタログ通販など）」(2.0%)が上位である。



4.購入する納豆の販売パック

Q28：あなたが最もよく購入される納豆は、何パックで販売されているものですか。（回答は1つ）[S/A]

- 購入する納豆の販売パックについて最も高いのは、「3パックで販売されている商品」(88.2%)である。次いで「1パックで販売されている商品」(4.7%)、「4パックで販売されている商品」(3.6%)と続く。

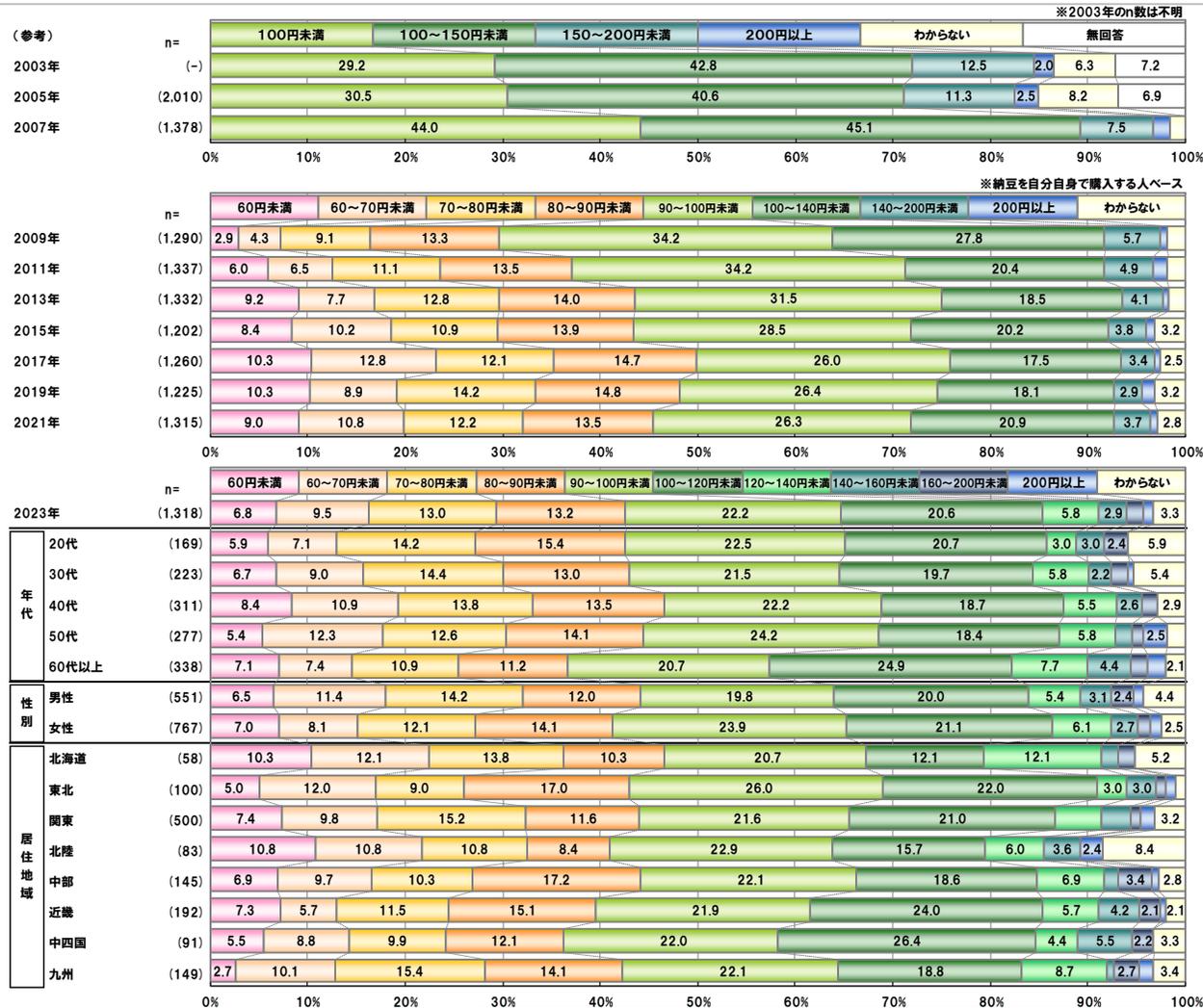


5.購入する納豆の価格帯

Q29：あなたが最もよく購入される納豆はどのような価格帯（税込価格）のものですか。（回答は1つ）

※（例）上記で3パックで販売されている商品を選択された場合、3パックでの価格帯（税込価格）をお聞かせ下さい。[S/A]

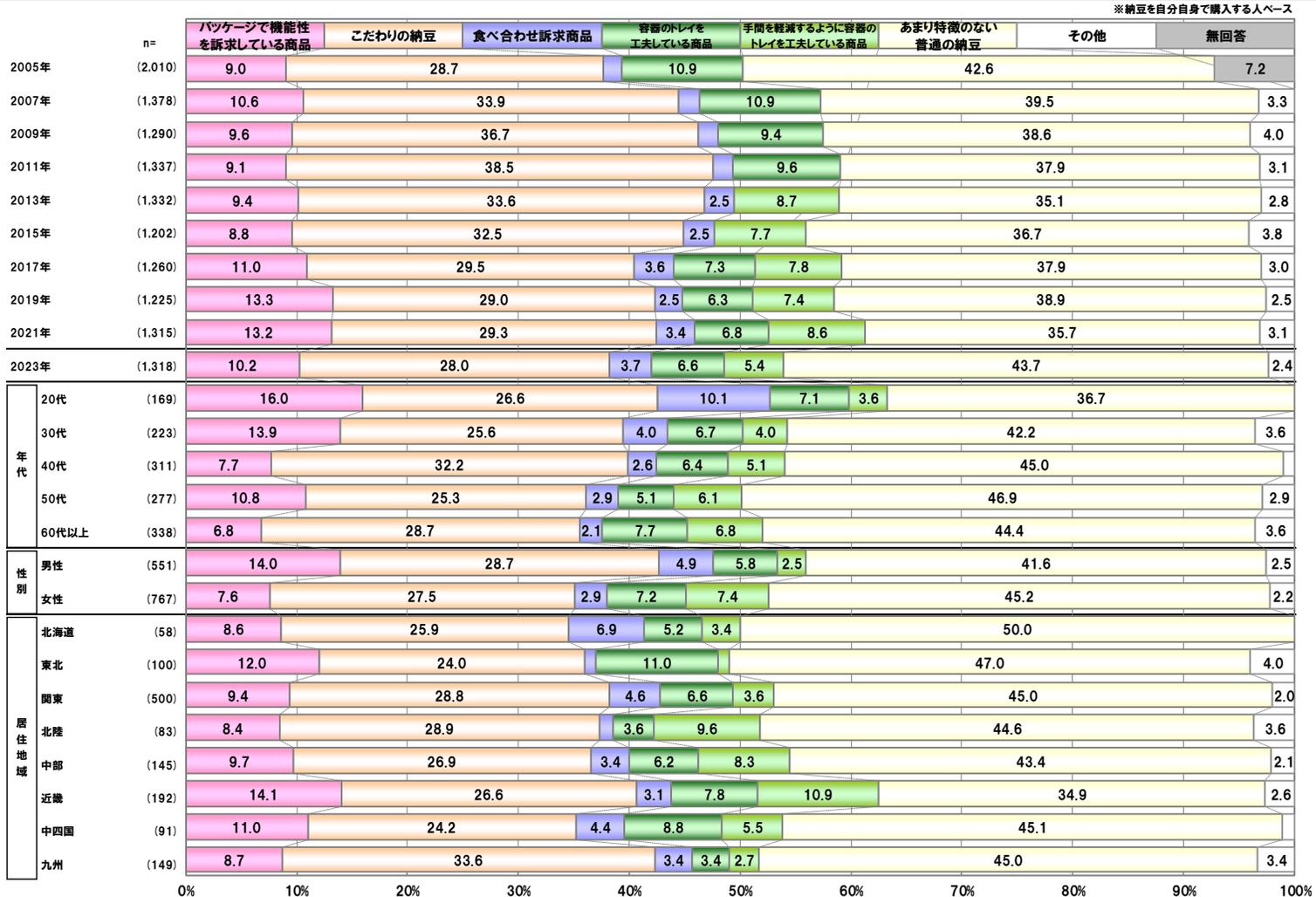
- 購入する納豆の価格帯について最も高いのは、「90～100円未満のもの」(22.2%)である。次いで「100～120円未満のもの」(20.6%)、「80～90円未満のもの」(13.2%)、「70～80円未満のもの」(13.0%)と続く。



6.最もよく購入する納豆のタイプ

Q30：あなたが最もよく購入される納豆はどのようなタイプのもですか。（回答は1つ）[S/A]

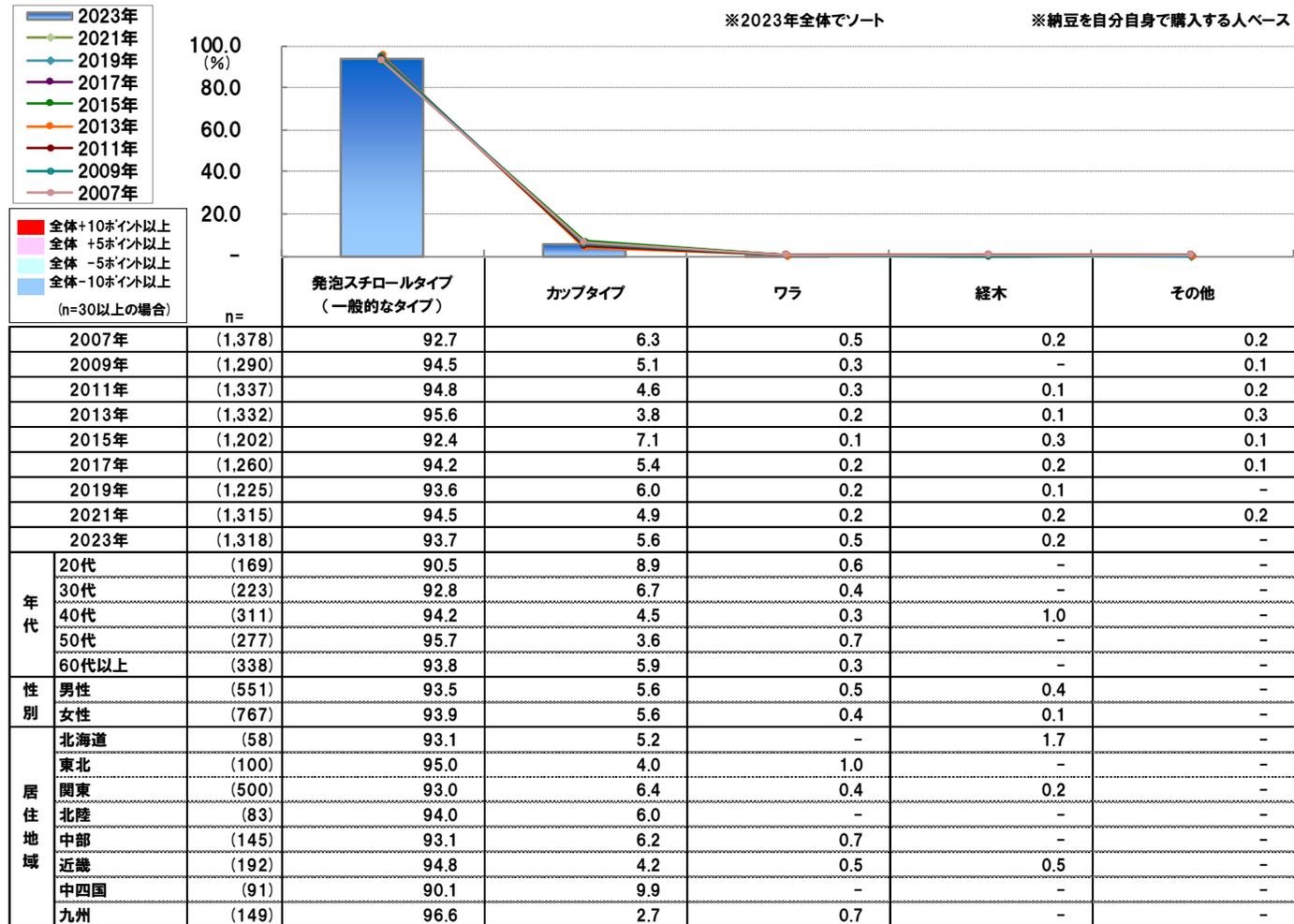
- 最もよく購入する納豆のタイプについて最も高いのは、「あまり特徴のない普通の納豆」(43.7%)である。次いで「こだわりの納豆（国産、有機栽培大豆など）」(28.0%)、「パッケージで機能性を訴求している商品（この納豆には・・・が多く含まれています）」(10.2%)、「容量や、材質など容器のトレイを工夫している商品（カップ型、少量に小分け型など）」(6.6%)と続く。



7.最もよく購入する納豆のパッケージのタイプ

Q31：あなたが最もよく購入される納豆のパッケージのタイプをお知らせください。（回答は1つ）[S/A]

- 最もよく購入する納豆のパッケージのタイプについて最も高いのは、「発泡スチロールタイプ（一般的なタイプ）」(93.7%)である。次いで「カップタイプ」(5.6%)、「ワラ」(0.5%)、「経木」(0.2%)と続く。

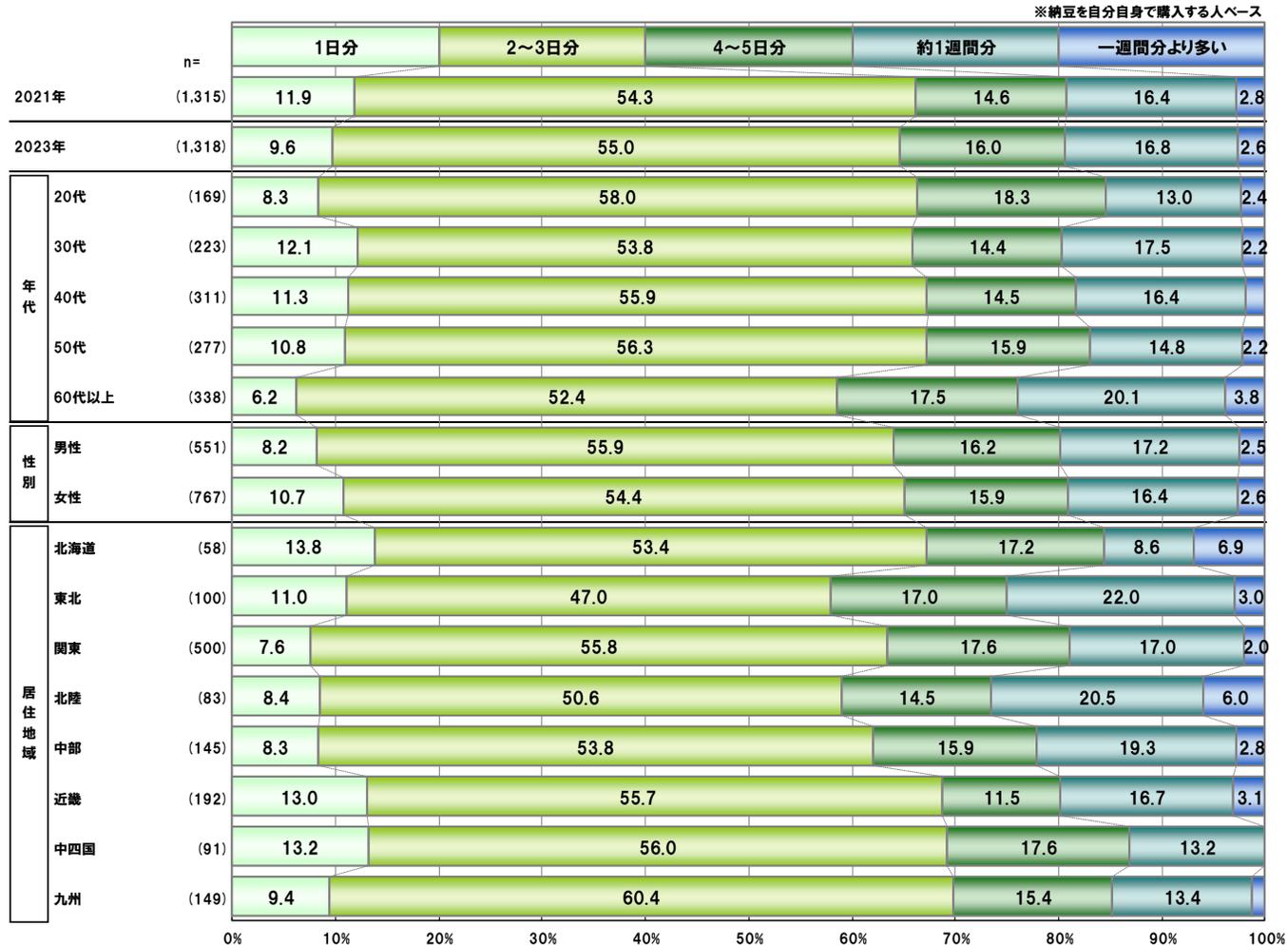


※「カップタイプ」は、2013年では「紙コップタイプ」。

8.納豆の購入時の購入量

Q32：あなたが、納豆を購入する際、1回の買い物で、何日分を目安に購入していますか。（回答は1つ）[S/A]

■ 購入時の購入量について最も高いのは、「2～3日分」(55.0%)である。次いで「約1週間分」(16.8%)、「4～5日分」(16.0%)と続く。

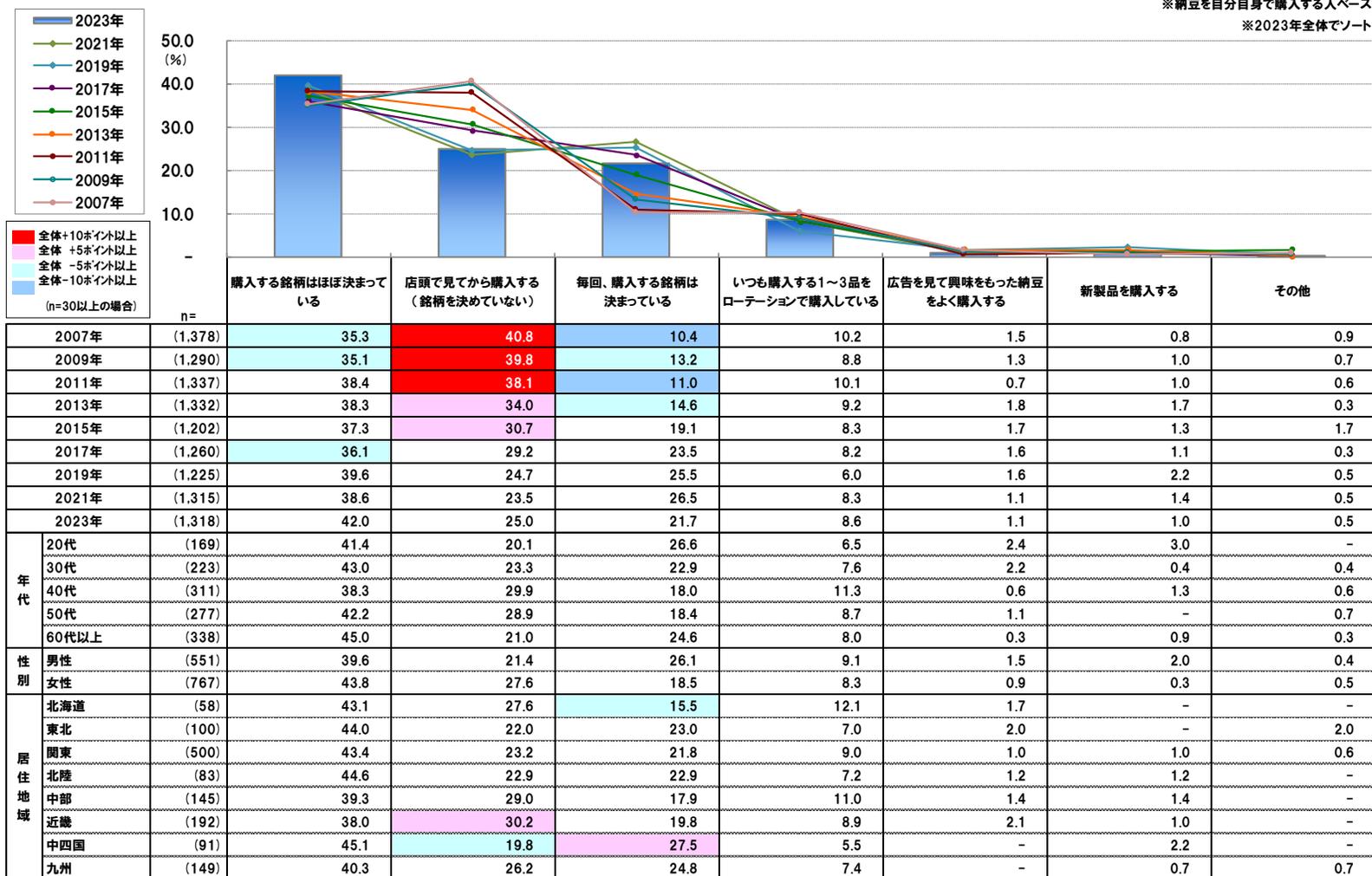


■ 全体+10ポイント以上
■ 全体 +5ポイント以上
■ 全体 -5ポイント以上
■ 全体-10ポイント以上
 (n=30以上の場合)

9.店頭での納豆選択方法

Q33：あなたは、納豆を購入する際どのように選んでいますか。最も当てはまるものを1つお知らせください。（回答は1つ）[S/A]

- 店頭での納豆選択方法について最も高いのは、「購入する銘柄はほぼ決まっている」(42.0%)である。次いで「店頭で見てから購入する（銘柄を決めていない）」(25.0%)、「毎回、購入する納豆の銘柄は決まっている」(21.7%)、「いつも購入する1～3品をローテーションで購入している」(8.6%)と続く。

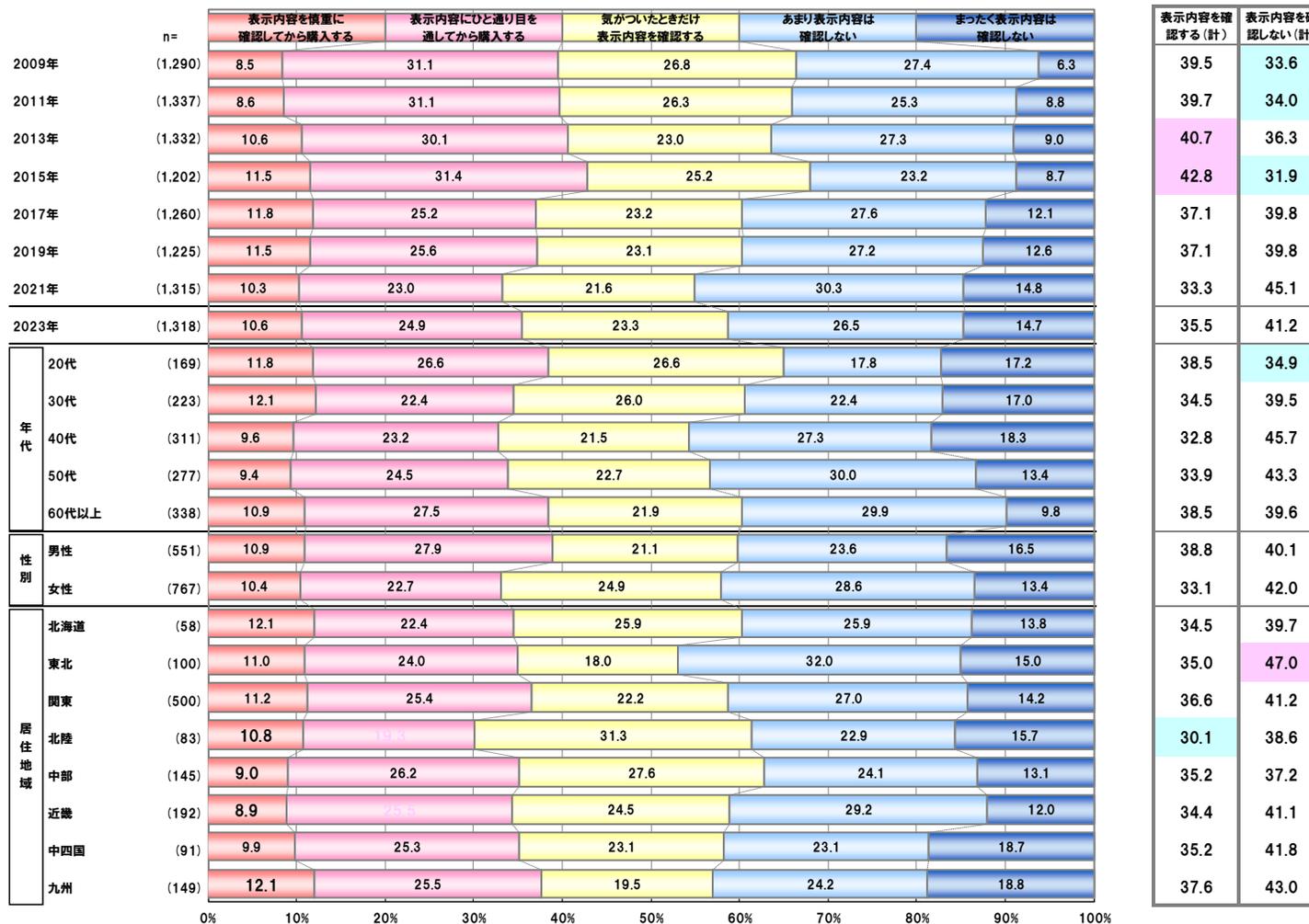


10.表示内容の確認

Q34：あなたが納豆を購入する際、パッケージの側面・裏面の表示内容を確認しますか。最も当てはまるものを1つお知らせください。（回答は1つ）[S/A]

- 表示内容の確認については、「表示内容を慎重に確認してから購入する」は10.6%、「表示内容にひと通り目を通してから購入する」(24.9%)を合計すると35.5%である。
- 2021年と比較すると、特に大きな変化はみられない。

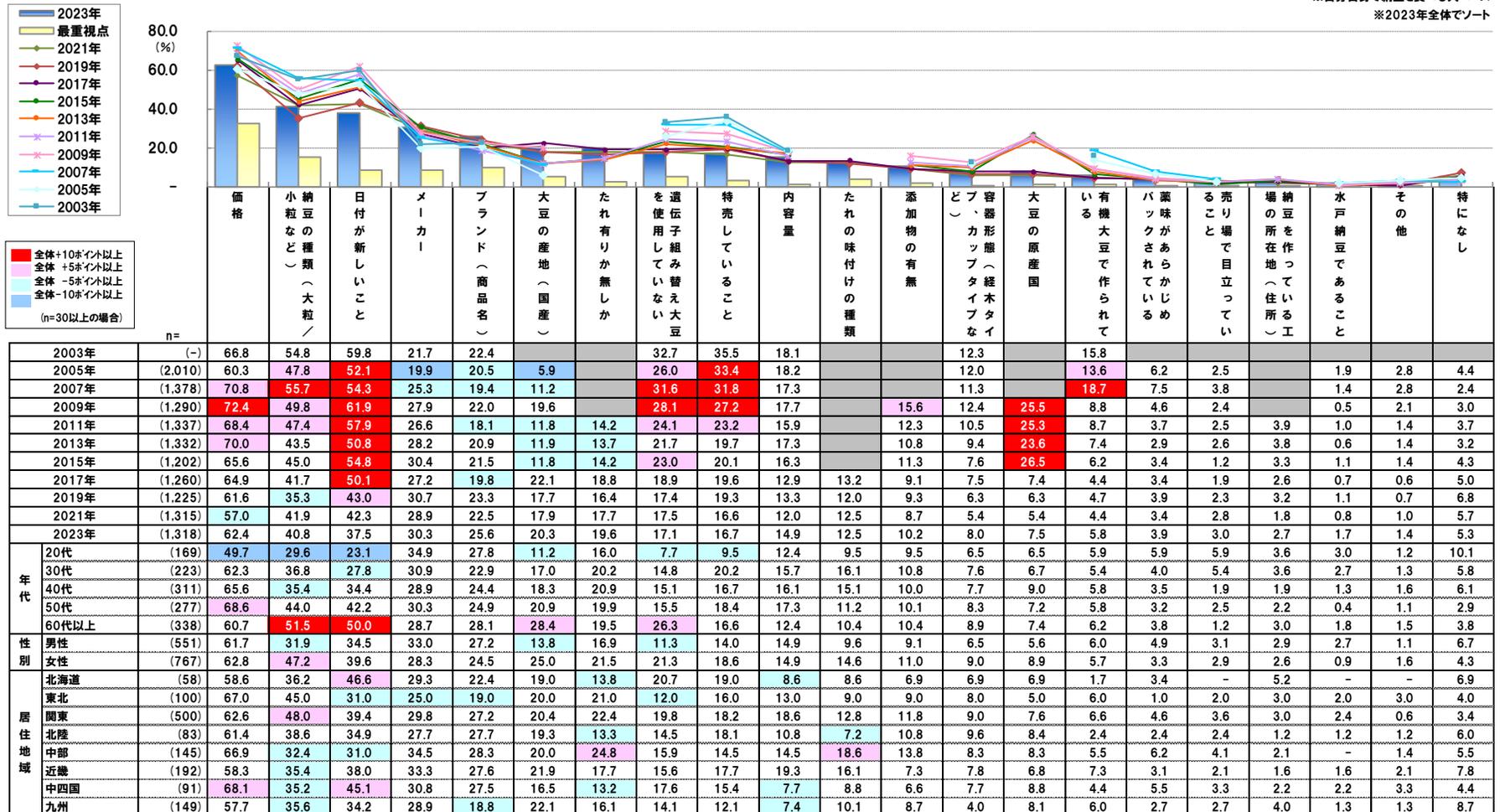
※納豆を自分自身で購入する人ベース



11.納豆購入時重視点

Q35：あなたが納豆を購入される時、重視するのはどのような点ですか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 納豆購入時重視点について最も高いのは、「価格」(62.4%)である。次いで「納豆の種類（大粒／小粒など）」(40.8%)、「日付が新しいこと」(37.5%)、「メーカー」(30.3%)と続く。
- 2021年と比較すると、「価格」の割合が上昇している。



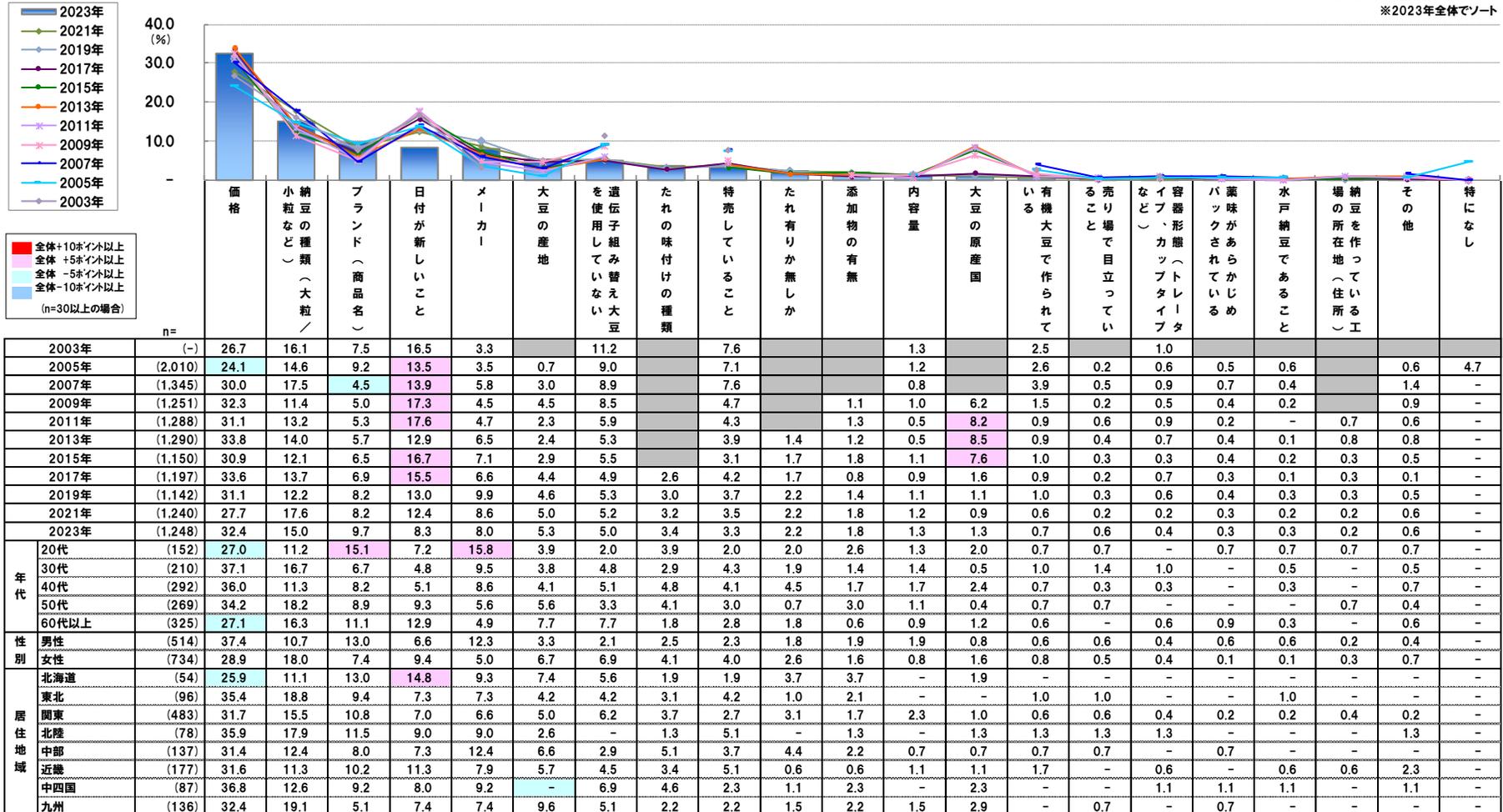
*---2005～2011年非聴取項目／2003年はTOP10項目のみ掲載／2003年のn数は不明

12.納豆購入時最重視点

Q36：では、あなたが納豆を購入される時、最も重視するのはどのような点ですか。（回答は1つ）[S/A]

- 納豆購入時最重視点について最も高いのは、「価格」(32.4%)である。次いで「納豆の種類（大粒／小粒など）」(15.0%)、「ブランド（商品名）」(9.7%)、「日付が新しいこと」(8.3%)と続く。
- 2021年と比較すると、特に大きな変化はみられない。

※自分自身で納豆を食べる人ベース
※2023年全体でソート

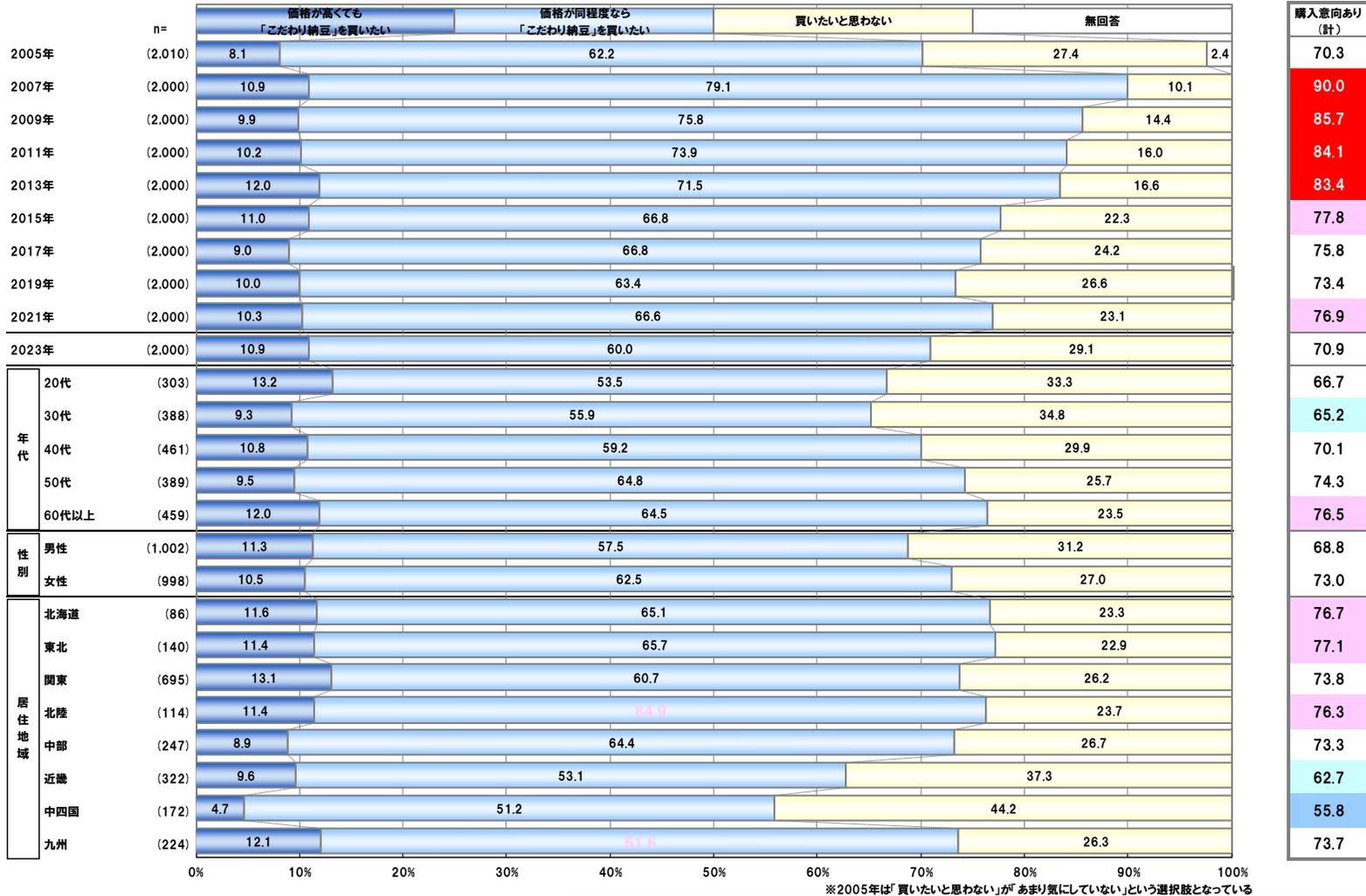


*...2005～2011年非購取項目／2003年はTOP10項目のみ掲載／2003年のn数は不明

13. 「こだわり納豆」購入意向

Q38：あなたは原料や製法にこだわった「こだわり納豆」をどの程度買いたいと思われますか。（回答は1つ）[S/A]

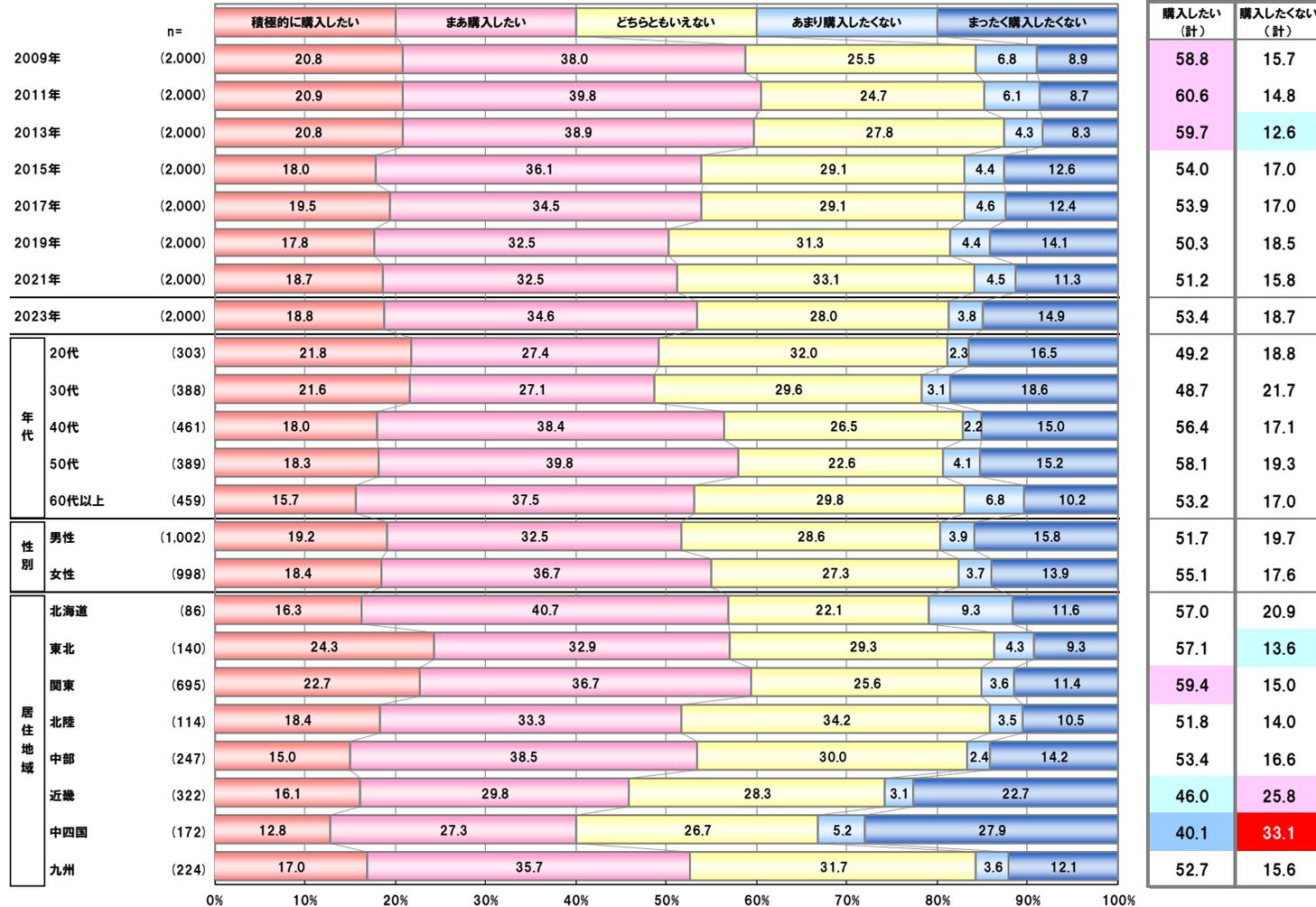
- 「こだわり納豆」購入意向については、「価格が高くても「こだわり納豆」を買いたい」は10.9%、「価格が同程度なら「こだわり納豆」を買いたい」(60.0%)を合計すると70.9%である。
- 2021年と比較すると、「購入意向あり(計)」は低下している。



14. 特売品購入意向

Q39：あなたは、納豆売り場の店頭で山積みされた「特売品」として売られている納豆についてどのように感じられますか。あてはまるものをお知らせ下さい。（回答は1つ）[S/A]

■ 特売品購入意向については、「積極的に購入したい」は18.8%、「まあ購入したい」(34.6%)を合計すると53.4%である。



■ 全体+10ポイント以上
■ 全体 +5ポイント以上
■ 全体 -5ポイント以上
■ 全体-10ポイント以上
 (n=30以上の場合)

15. 納豆の保存方法

Q40 : あなたは、購入した納豆を実際に食べるまでの間、どのようにして保存していますか。もっとも近いものをお選び下さい。(回答は1つ) [S/A]

- 納豆の保存方法について最も高いのは、「毎回、冷蔵室で保存している」(85.0%)である。次いで「状況に応じて、冷蔵室と冷凍室を使い分けて保存している」(6.0%)、「毎回、冷凍室で保存している」(4.1%)と続く。

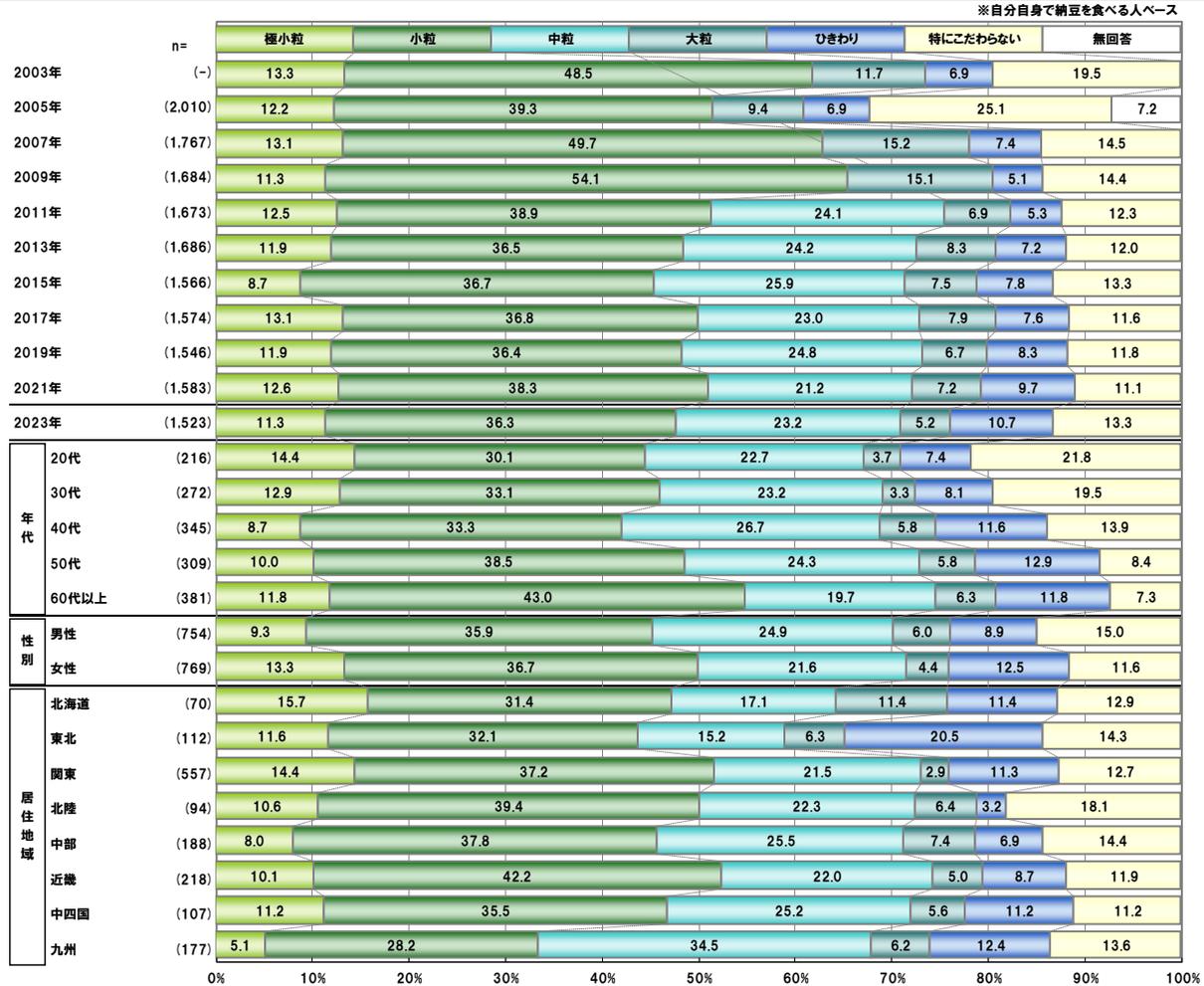


3.納豆の好み

1.最も好きな「豆の大きさ」

Q41：あなたが最も好きな「豆の大きさ」をお知らせ下さい。(回答は1つ) [S/A]

- 最も好きな「豆の大きさ」について最も高いのは、「小粒」(36.3%)である。次いで「中粒」(23.2%)、「特にこだわらない」(13.3%)、「極小粒」(11.3%)、と続く。

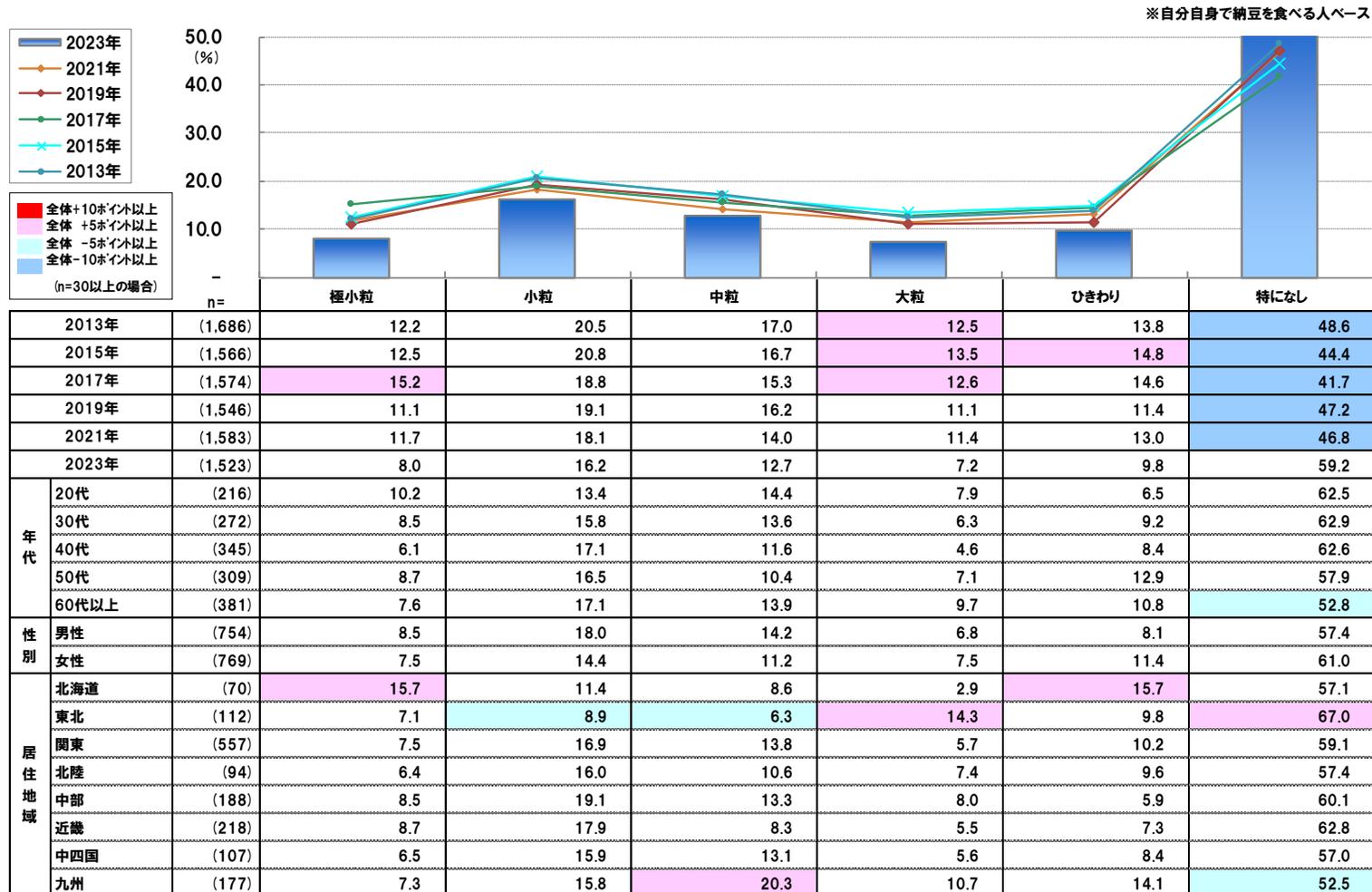


※2003年のn数は不明
 ※選択肢「中粒」は2009年調査まで定時なし

2.この一年間で初めて購入した「豆の大きさ」

Q42：あなたが、この一年間で【初めて購入した】、または、【2年以上購入していなかったが購入した】「豆の大きさ」をお知らせください。（回答はいくつでも）[M/A]

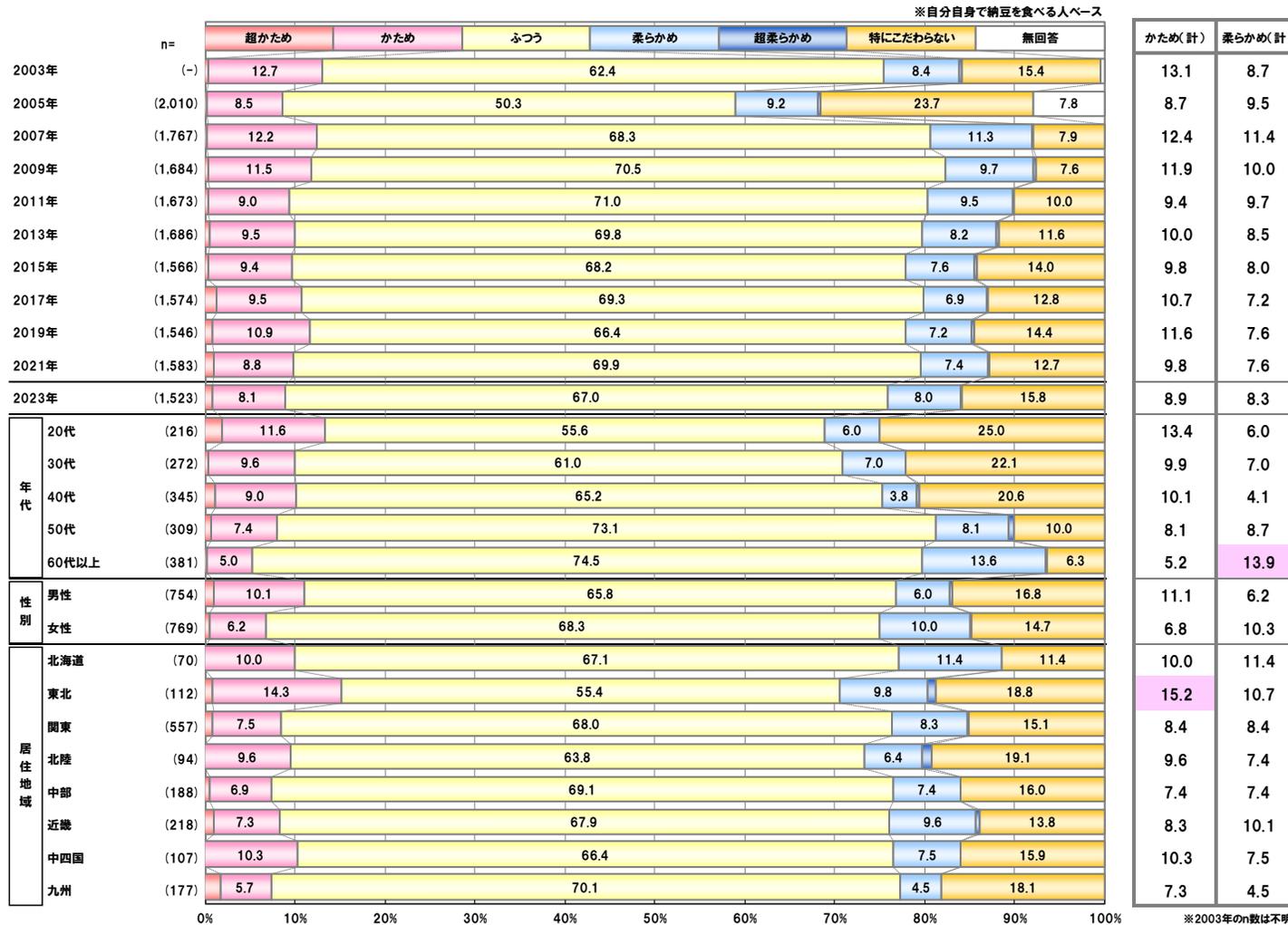
- この一年間で初めて購入した「豆の大きさ」について最も高いのは、「特になし」(59.2%)である。次いで「小粒」(16.2%)、「中粒」(12.7%)、「ひきわり」(9.8%)と続く。



3.最も好きな「豆の固さ」

Q43：あなたが最も好きな「豆の固さ」をお知らせ下さい。（回答は1つ）[S/A]

- 最も好きな「豆の固さ」については、「超かため」は0.8%、「かため」(8.1%)を合計すると8.9%である。
- 「超柔らかめ」は0.3%、「柔らかめ」(8.0%)を合計すると8.3%である。



■ 全体+10ポイント以上
■ 全体 +5ポイント以上
■ 全体 -5ポイント以上
■ 全体-10ポイント以上
 (n=30以上の場合)

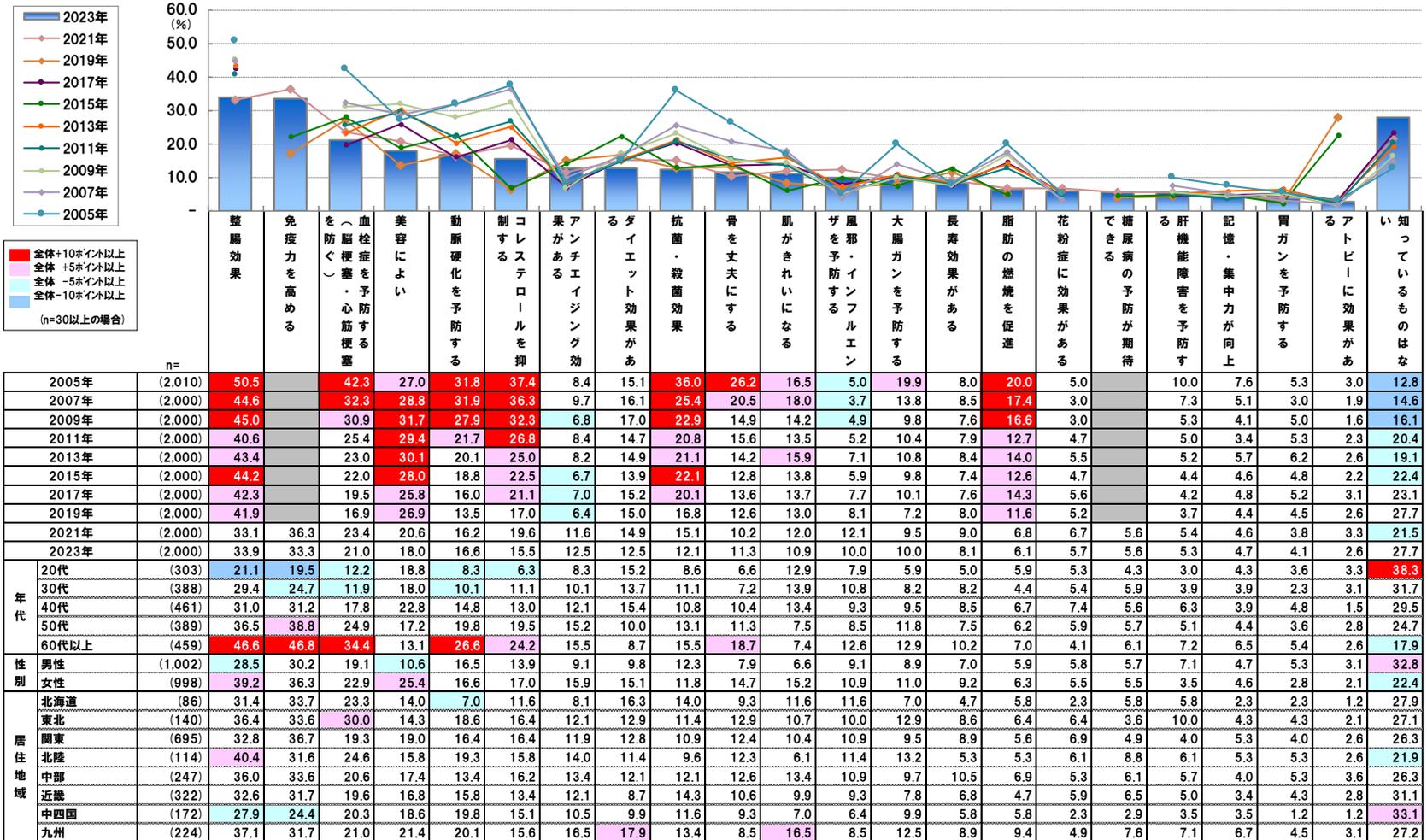
4.納豆の健康効果

1.納豆の健康効果認知度

Q44：納豆に含まれる成分には次のような健康効果が期待できますが、以下の中であなたがご存知だったモノはどれですか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 納豆の健康効果認知度について最も高いのは、「整腸効果」(33.9%)である。次いで、「免疫力を高める」(33.3%)、「血栓症を予防する（脳梗塞・心筋梗塞を防ぐ）」(21.0%)、「美容によい」(18.0%)と続く。
- 年代でみると、60代以上は「整腸効果」「免疫力を高める」「血栓症を予防する（脳梗塞・心筋梗塞を防ぐ）」「動脈硬化を予防する」が高い。
- 2021年と比較すると、特に大きな変化はみられない。

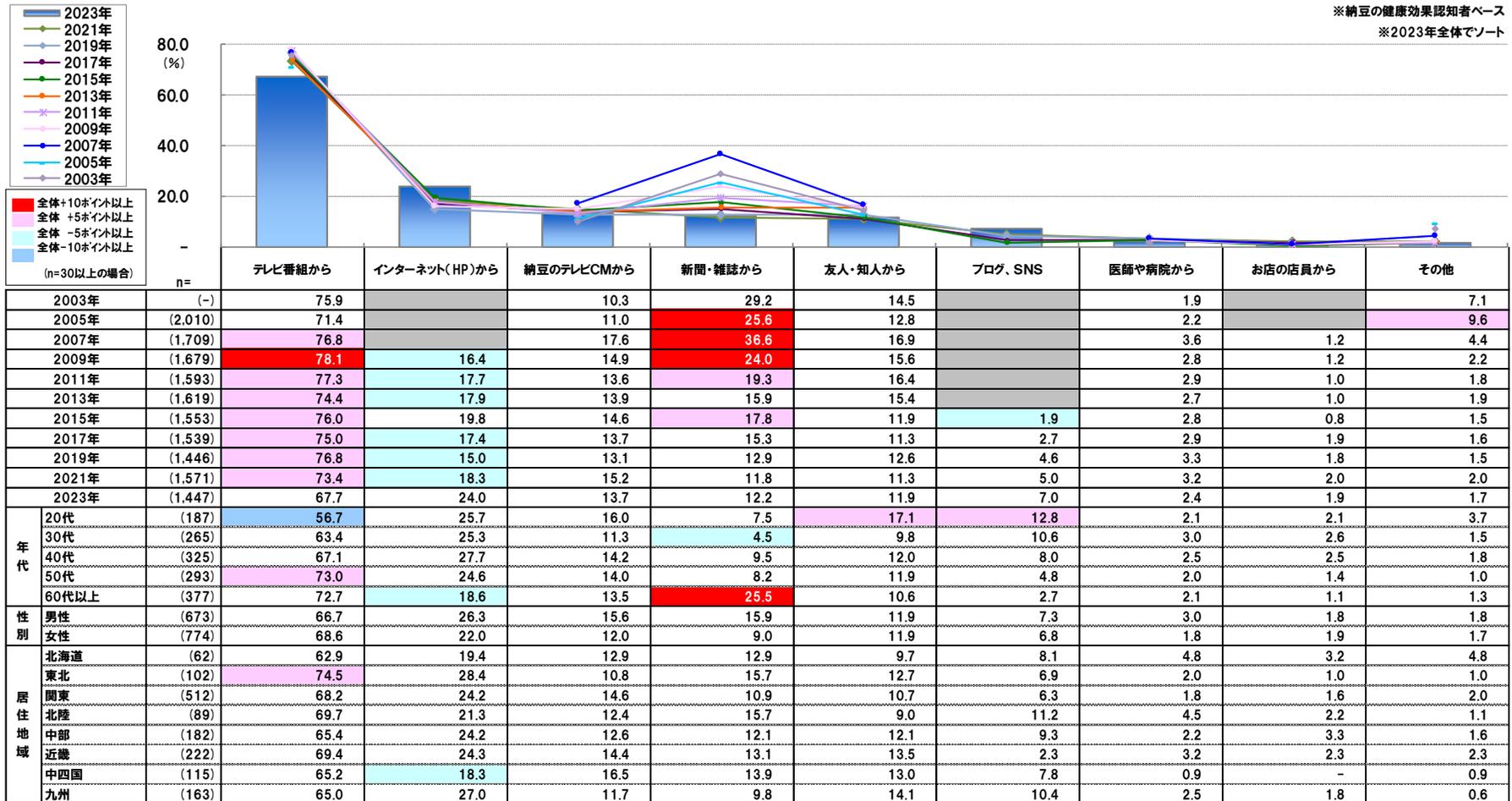
※2023年全体でノート



2.納豆の健康効果の情報入手経路

Q45：あなたは、どのようなところから納豆で期待できる健康効果をお知りになりましたか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

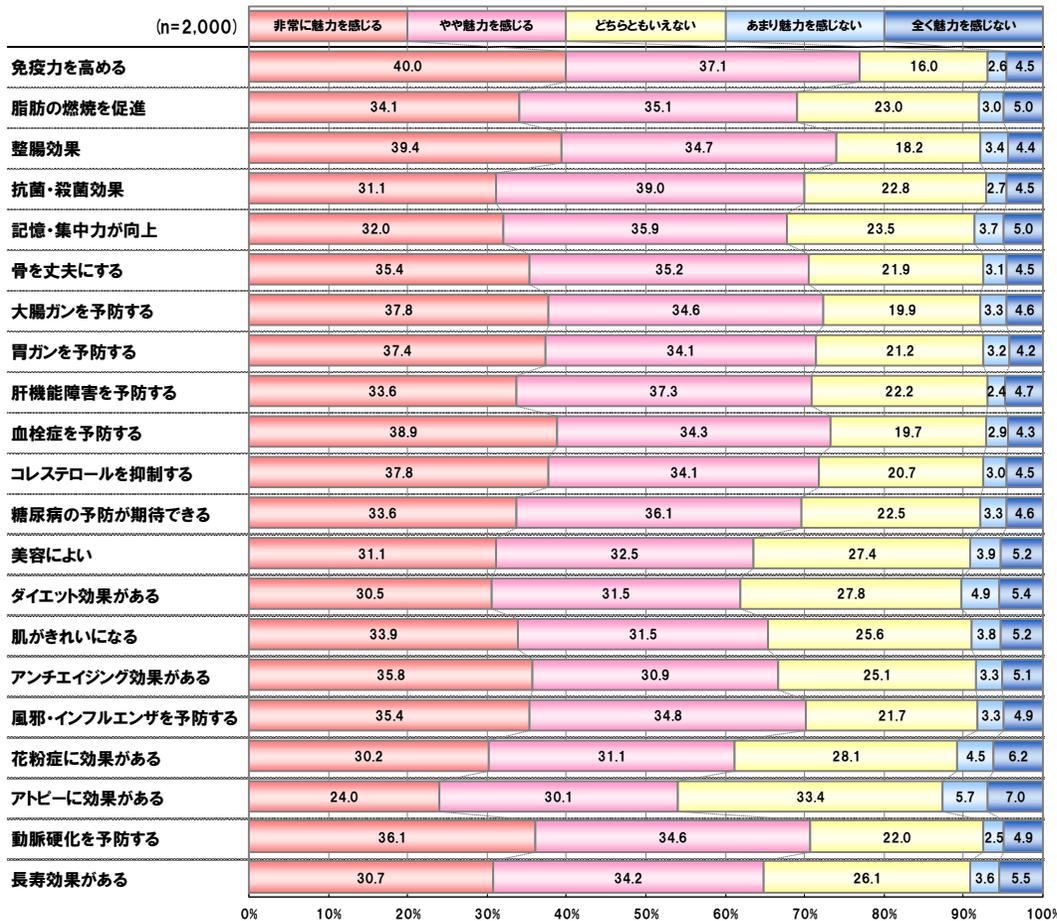
- 納豆の健康効果の情報入手経路について最も高いのは、「テレビ番組から」(67.7%)である。次いで「インターネット（HP）から」(24.0%)、「納豆のテレビCMから」(13.7%)、「新聞・雑誌から」(12.2%)、と続く。
- 2021年と比較すると、「テレビ番組から」の割合が低下、「インターネット（HP）から」の割合が上昇している。



3.納豆の健康効果の魅力度

Q46：では、次の納豆の健康効果それぞれについて、あなたはどの程度魅力を感じますか。下記の項目ごとに、当てはまるものをお知らせ下さい。（回答はそれぞれ1つ）[S/A]

- 納豆の健康効果の魅力度について、魅力を感じる（計）の割合が最も高いのは、「免疫力を高める」(77.0%)である。次いで「整腸効果」(74.1%)、「血栓症を予防する」(73.2%)、「大腸ガンを予防する」(72.4%)と続く。



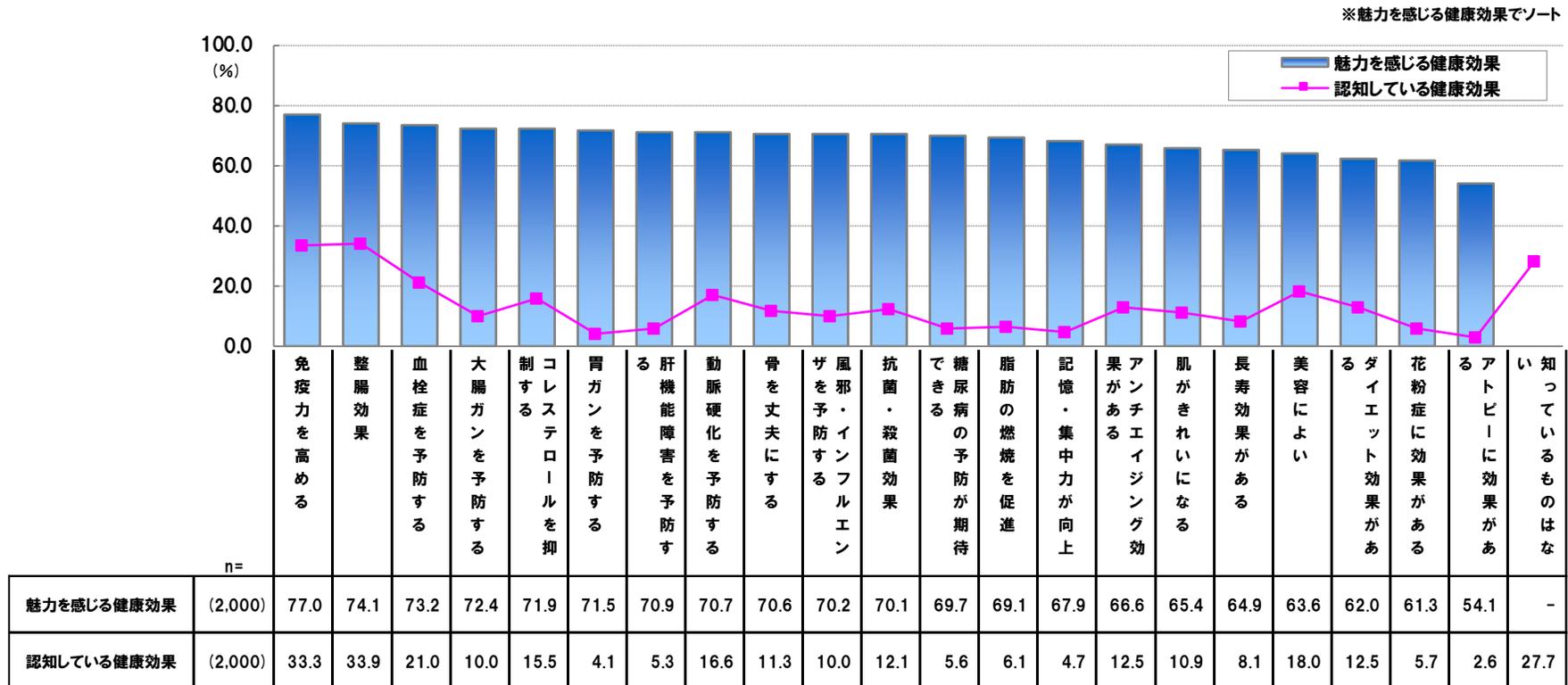
魅力を感じる(計)	魅力を感じない(計)	2021年 魅力を感じる (計)	2019年 魅力を感じる (計)	2017年 魅力を感じる (計)	2015年 魅力を感じる (計)	2013年 魅力を感じる (計)	2011年 魅力を感じる (計)	2009年 魅力を感じる (計)	2007年 魅力を感じる (計)
77.0	7.0	80.0							
69.1	8.0	72.9	69.6	72.6	76.8	80.8	82.2	83.8	81.7
74.1	7.8	75.7	73.3	75.8	82.9	85.5	85.5	86.0	86.2
70.1	7.2	72.6	67.3	70.3	77.9	82.0	80.8	80.3	80.3
67.9	8.7	68.3	64.5	66.4	73.0	77.0	76.5	78.5	78.2
70.6	7.6	70.8	69.6	71.7	77.5	82.3	83.4	83.4	83.9
72.4	7.8	73.5	71.0	74.6	79.2	84.1	83.7	85.3	86.4
71.5	7.4	72.7	70.9	73.6	79.0	83.9	83.3	84.8	84.6
70.9	7.0	71.9	68.6	72.1	77.2	81.8	82.7	83.7	85.3
73.2	7.2	74.5	71.5	75.0	79.9	84.8	85.7	88.2	90.2
71.9	7.4	75.3	71.4	74.8	80.0	84.5	85.2	89.2	89.2
69.7	7.9	70.2							
63.6	9.1	65.3	64.1	64.1	66.5	73.2	72.0	71.1	75.1
62.0	10.3	64.7	62.6	65.6	65.4	71.4	72.3	71.8	73.5
65.4	9.0	65.7	65.9	66.7	68.1	75.0	74.0	74.9	76.8
66.6	8.4	66.8	64.6	67.0	67.6	74.2	74.9	75.1	79.0
70.2	8.2	70.7	68.5	70.4	74.0	78.8	79.7	80.4	80.8
61.3	10.7	62.1	61.3	59.8	61.2	69.0	64.1	64.9	67.9
54.1	12.6	56.0	53.8	53.0	54.4	59.9	56.7	56.7	61.1
70.7	7.4	73.1	70.1	73.5	78.3	82.9	84.3	84.7	87.8
64.9	9.1	67.1	63.5	64.1	68.8	74.0	72.4	72.1	76.2

※参考：健康効果の魅力度と認知度の比較

Q44：納豆に含まれる成分には次のような健康効果が期待できますが、以下の中であなたがご存知だったモノはどれですか。

Q46：では、次の納豆の健康効果それぞれについて、あなたはどの程度魅力を感じますか。下記の項目ごとに、当てはまるものをお知らせ下さい。

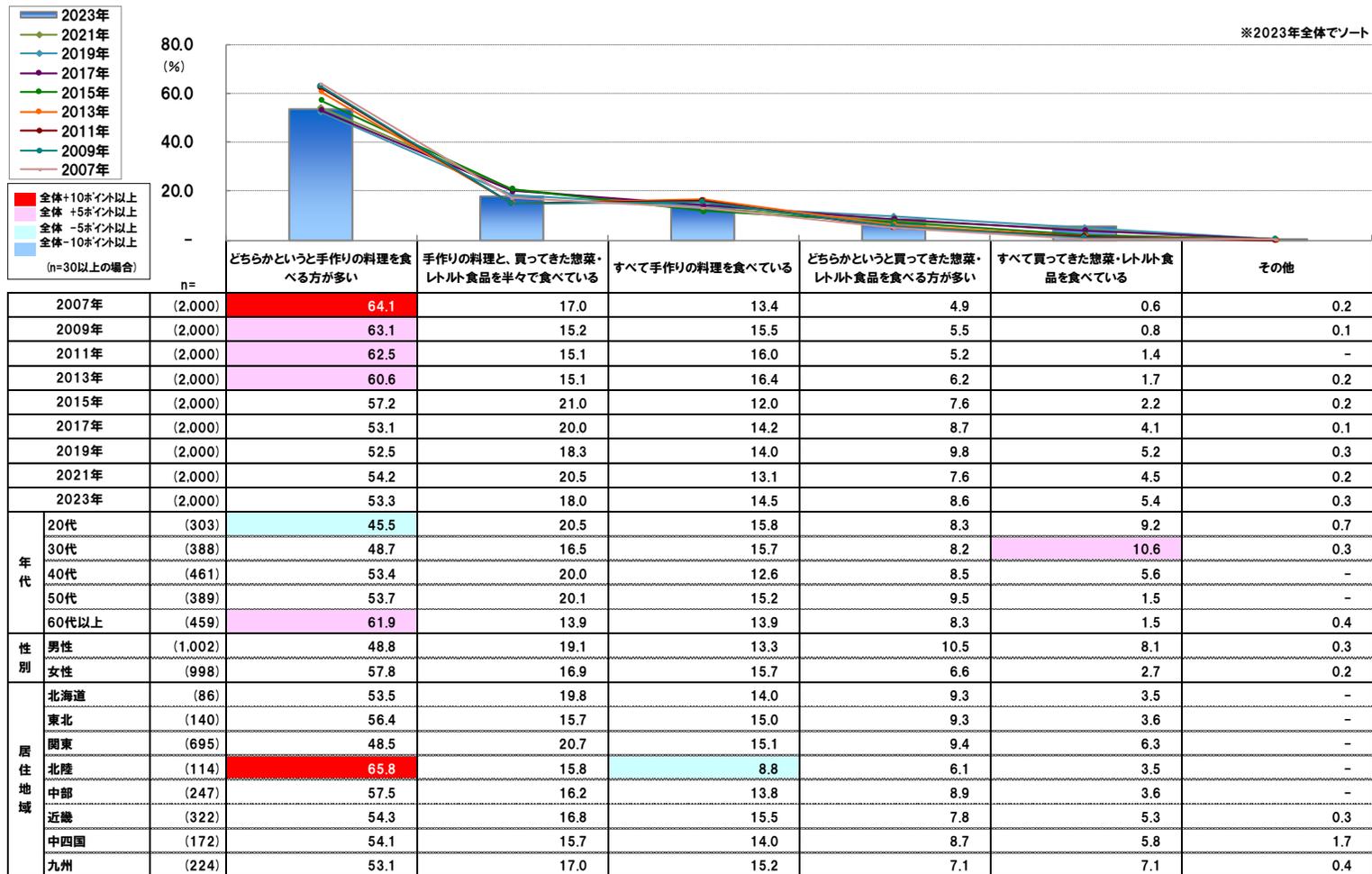
- 納豆の健康効果認知度は、「整腸効果」(33.9%)、「免疫力を高める」(33.3%)、「血栓症を予防する（脳梗塞・心筋梗塞を防ぐ）」(21.0%)、「美容によい」(18.0%)が上位である。
- 納豆の健康効果の魅力度について、魅力を感じる（計）の割合は、「免疫力を高める」(77.0%)、「整腸効果」(74.1%)、「血栓症を予防する」(73.2%)、「大腸ガンを予防する」(72.4%)が上位である。



4. 自宅での食事メニュー

Q47：あなたが、ご自宅で食事をするときのメニューに関して、当てはまるものを1つだけお知らせください。（回答は1つ）[S/A]

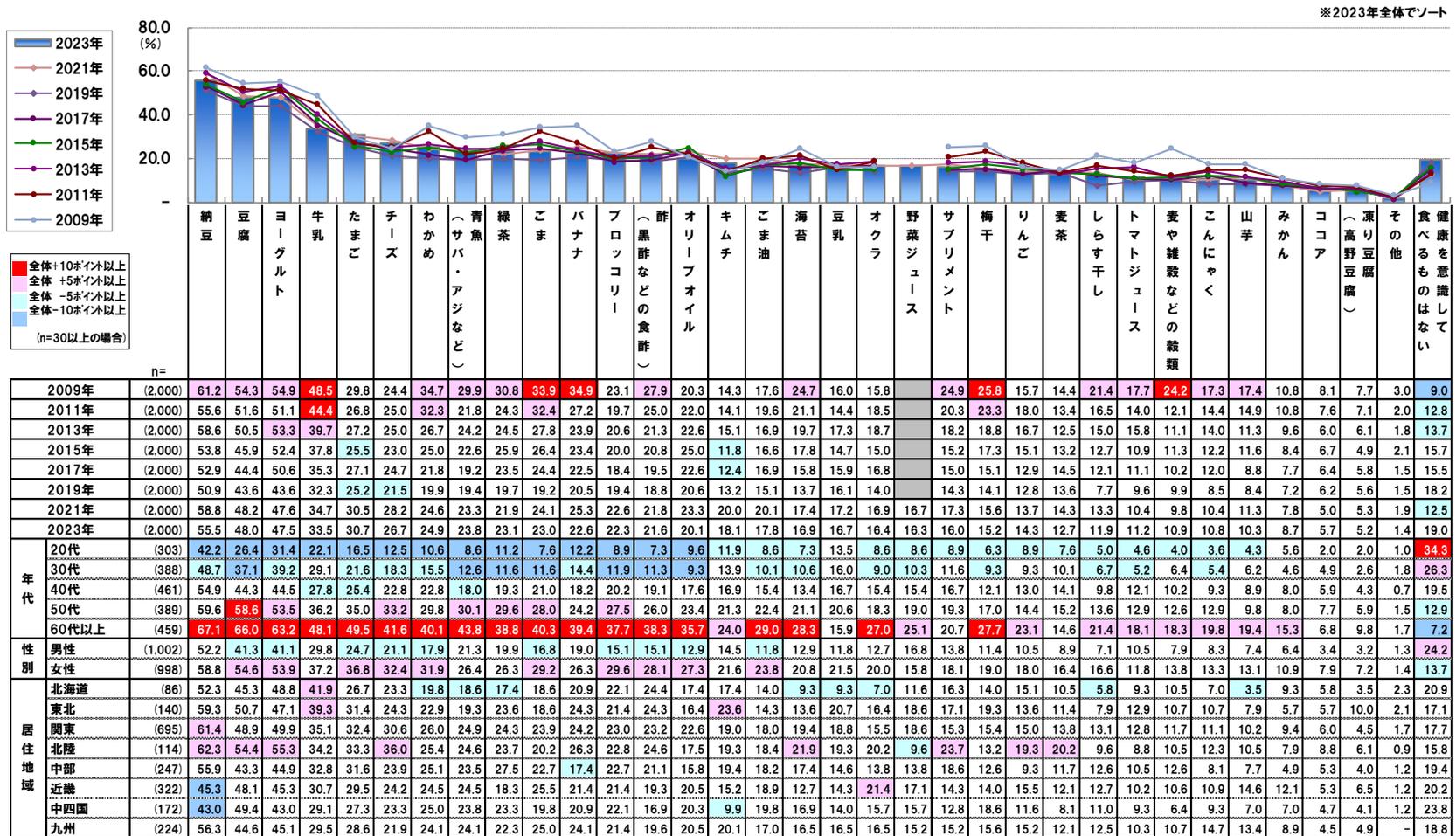
- 自宅での食事メニューについて最も高いのは、「どちらかという手作りの料理を食べる方が多い」(53.3%)である。次いで「手作りの料理と、買ってきた惣菜・レトルト食品を半々で食べている」(18.0%)、「すべて手作りの料理を食べている」(14.5%)、「どちらかというと買ってきた惣菜・レトルト食品を食べる方が多い」(8.6%)と続く。



5. 健康を意識した食品

Q48：以下に挙げる中で、あなたがだんだん健康を意識して食べている・摂取している食品はどれですか。当てはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 健康を意識した食品について最も高いのは、「納豆」(55.5%)である。次いで「豆腐」(48.0%)、「ヨーグルト」(47.5%)と続く。
- 年代別でみると、年代が上がるほど食べている・摂取している食品が多くなる傾向。
- 2021年と比較すると、特に大きな変化はみられない。

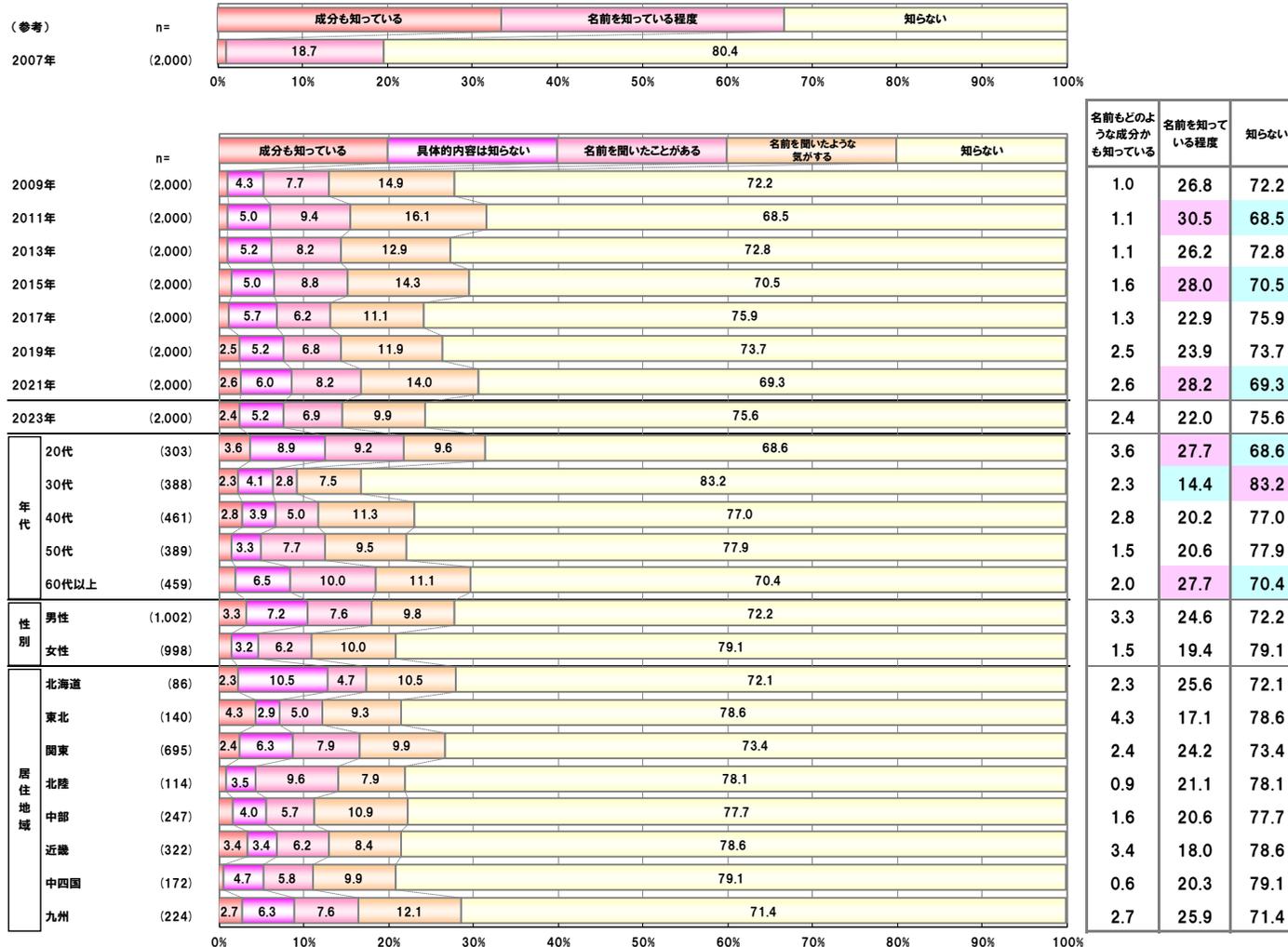


※「妻や雑穀などの穀類」は2009年では「米、麦などの穀類」

6. 『ポリアミン』認知度

Q49：納豆に含まれている成分に『ポリアミン』というのがあります。あなたは『ポリアミン』についてどの程度ご存知ですか。（回答は1つ） [S/A]

- 『ポリアミン』認知度については、「名前もどのような成分か知っている」は2.4%、「名前は知っているが、具体的な内容は知らない」(5.2%)と「名前を聞いたことがある」(6.9%)を合計すると14.5%である。
- 2021年と比較すると、「知らない」の割合が上昇している。

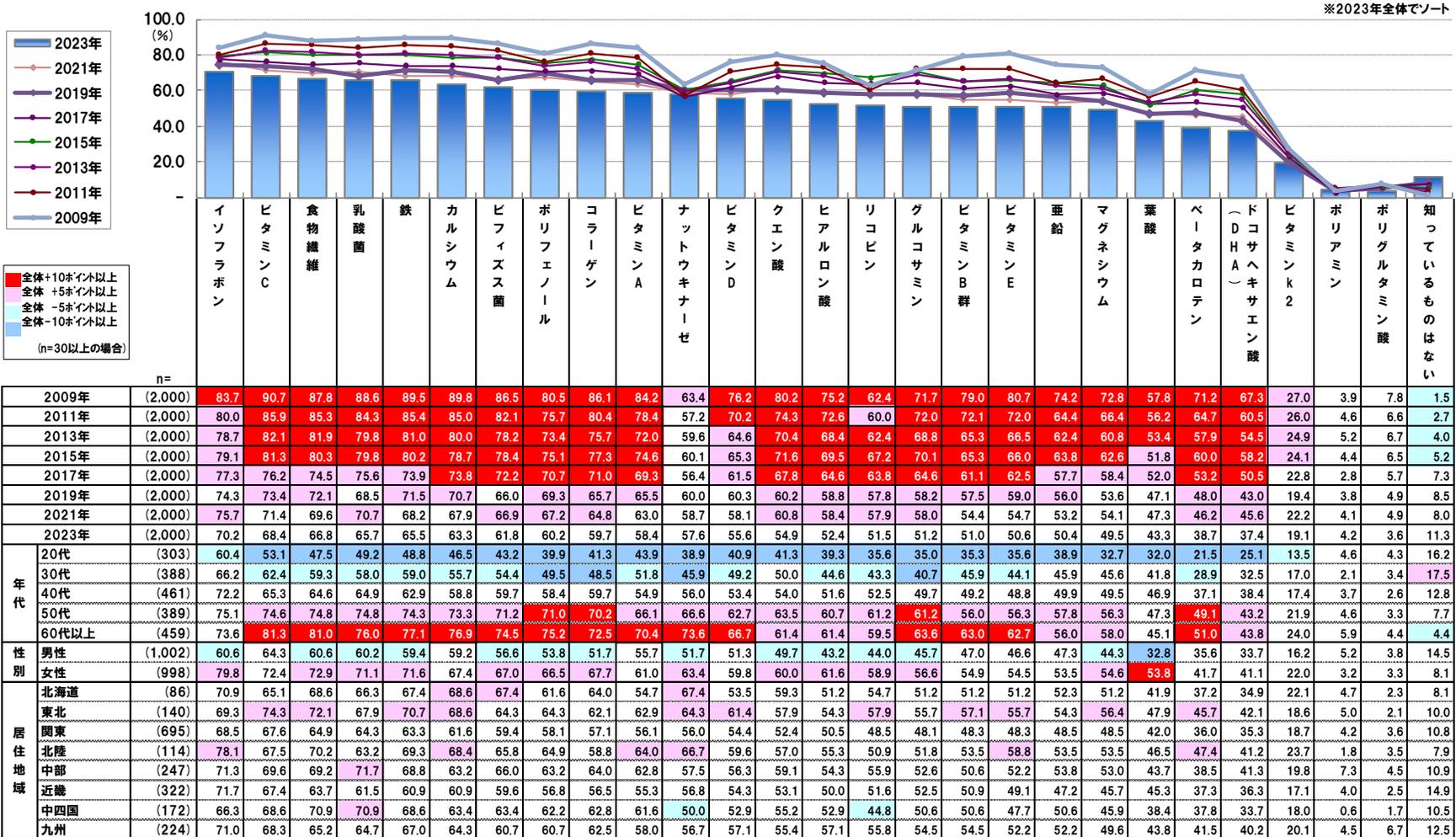


■ 全体+10ポイント以上
■ 全体 +5ポイント以上
■ 全体 -5ポイント以上
■ 全体-10ポイント以上
 (n=30以上の場合)

7. 栄養素認知

Q51：以下の中で、あなたがご存知の栄養素や成分を全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）[M/A]

- 栄養素認知について最も高いのは、「イソフラボン」(70.2%)である。次いで「ビタミンC」(68.4%)、「食物繊維」(66.8%)、「乳酸菌」(65.7%)と続く。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど認知している栄養素や成分が多くなる傾向。
- 2021年と比較すると、各栄養素や成分の認知割合は低下している傾向。

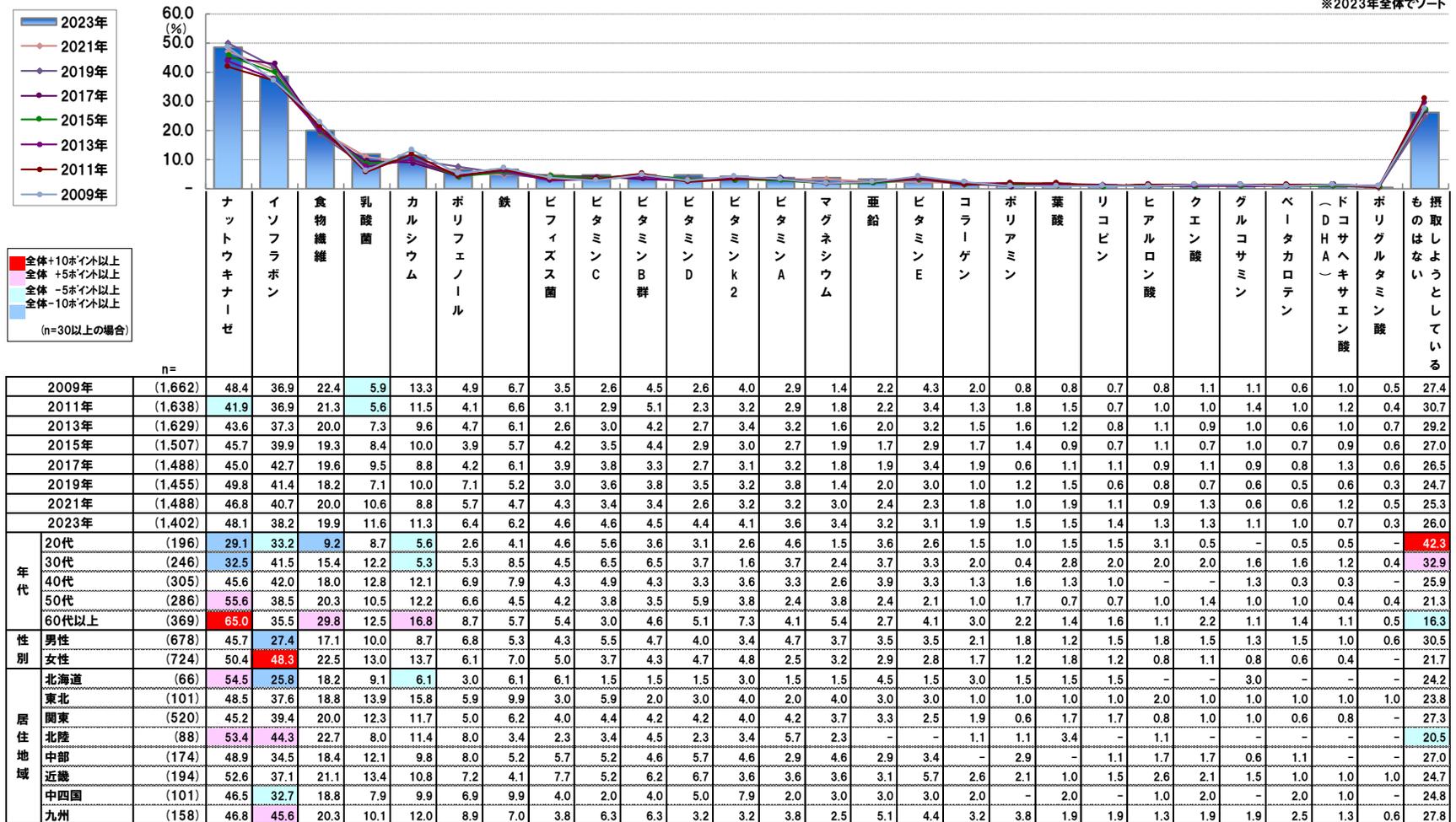


8. 栄養素摂取

Q52：あなたがご存知である栄養素や成分のうち、納豆を食べることでその摂取をしようとしているものはありますか。あてはまるものを全てお知らせ下さい。（回答はいくつでも）

- 栄養素摂取について最も高いのは、「ナットウキナーゼ」(48.1%)である。次いで「イソフラボン」(38.2%)、「摂取しようとしているものはない」(26.0%)、「食物繊維」(19.9%)と続く。
- 年代でみると、年代が上がるほど、「ナットウキナーゼ」の割合が高くなる。
- 性別でみると、女性は「イソフラボン」の割合が高い。

※自分自身で納豆を食べ、栄養素・成分の認知者ベース
 ※2023年全体でソート



※参考：知っている栄養素や成分/納豆で摂取しようとしているもの

Q51：以下の中で、あなたがご存知の栄養素や成分を全てお知らせ下さい。/ Q52：あなたがご存知である栄養素や成分のうち、納豆を食べることでその摂取をしようとしているものはありますか。

- 栄養素認知は、「イソフラボン」(70.2%)、「ビタミンC」(68.4%)、「食物繊維」(66.8%)が上位である。
- 栄養素摂取は、「ナットウキナーゼ」(48.1%)、「イソフラボン」(38.2%)、「食物繊維」(19.9%)が上位である。

※認知栄養素・成分でソート

